デジタルビデオカメラ

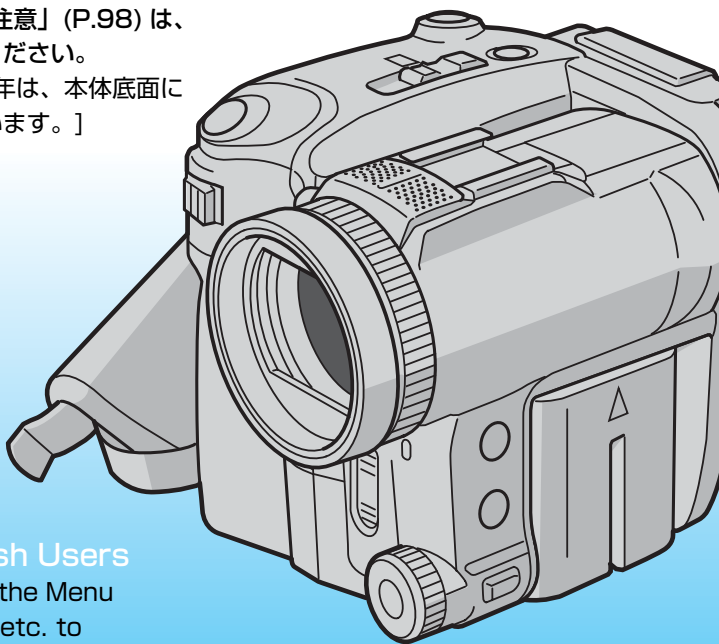
型名 GR-X5

取扱説明書

お買い上げありがとうございます。

ご使用のまえに

この取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。
特に「使用上のご注意」(P.4) と
「安全上のご注意」(P.98) は、
必ずお読みください。

［本機の製造年は、本体底面に
表示されています。］

For English Users

To change the Menu indications etc. to English, see page 109.
（本体画面の表示などを英語に変えるには、P.109 をご覧ください。）

Mini DV

LYT1430-001B

もくじ

はじめに

準備する

すぐ使う

もっと撮る

編集する

設定する

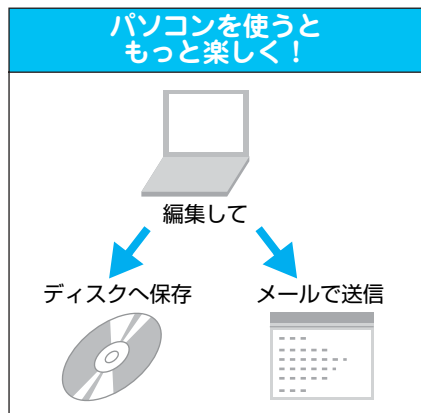
困ったときは

その他

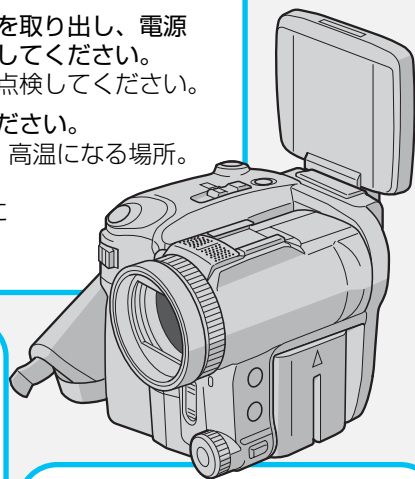
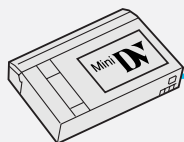
テープとカードの用途

テープ	カード
ムービー 撮影	**静止画** 撮影

パソコンを使うともっと楽しく！

編集して
ディスクへ保存
メールで送信

使用上のご注意

このビデオカメラについて

- **DV 方式です。ほかの方式や従来式のビデオとは互換性がありません。**
- **電源（バッテリーや AC アダプター）をはずすときは、必ず電源を切ってください。**
  動作中にはずすと、テープやカードの損傷や誤動作の原因となります。
- **使わないときは、電源を切ってください。**
  入れたままだと表面が温かくなります。
- **長期間使わない場合は、テープを取り出し、電源を切り、バッテリーを取りはずしてください。**
  ときどき電源を入れて、動作を点検してください。
- **次のような場所に置かないでください。**
  ･晴天時の閉め切った車内など、高温になる場所。
  ･直射日光が当たる場所。
  ･ゴムまたはプラスチック製品に
  接触する場所。

液晶画面について

- **表面を強く押したり強い衝撃を与えたりしないでください。**
  傷がついたり、割れたりする場合があります。
- **小さく光る点（赤・青・緑）や黒い点は故障ではありません。**
  テープやカードには記録されません。

著作権について

- **録画・録音したビデオは個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。**
- **鑑賞・興行・展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合があるので、ご注意ください。**

テープとメモリーカードについて

- 次のマークがあるものを使ってください。
  テープは MiniDV、カードは SD MultimediaCard
- 曲げたり、落としたり、強い力、衝撃、振動を与えないでください。
- 湿気が少なく、カビの発生しない場所に保管してください。
- カードの金属部分を触らないでください。

※ 不具合により正常に動作しないことがあります。内容の補償はご容赦ください。

バッテリー（充電式電池）について

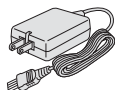
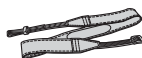
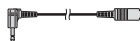
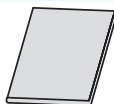
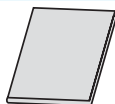
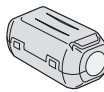
- 小型で高容量のリチウムイオンバッテリーです。
- 低温 (10 ℃以下) では、使用できる時間が短くなったり、動作しないことがあります。
  冬場の屋外などでは、バッテリーをポケットに入れるなど温かくしてから取り付けます。カイロなどに直接ふれないよう、ご注意ください。
- 長期間保管するときは、バッテリーの劣化を防ぐため、次の操作で使いきってください。さらに、半年に 1 回程度充電し、再び使いきってから保管してください。
  1)テープを入れずに、電源スイッチを「撮影」にあわせる。
  2)電源が自動的に切れるまで待ち、バッテリーを取りはずす。
- 使わないときは、バッテリー残量が減るのを防ぐため、必ず取りはずしてください。
- 取りはずしたバッテリーは、バッテリーキャップを取り付け、約 15 ～ 25 ℃の乾燥したところに保管してください。
- バッテリーを処分する際は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
  安全のため、バッテリーキャップを取り付けるか、端子部にセロハンテープなどを貼ってください。
  ・お問い合わせ：小形二次電池再資源化推進センター
  http://www.jbrc.com/
  ※見られない場合は、裏表紙のお客様ご相談センターへ

Li-ion

美しい環境維持にあなたも一役。リサイクルに協力しましょう。
ご使用済みの電池は廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

はじめにお確かめください

付属品

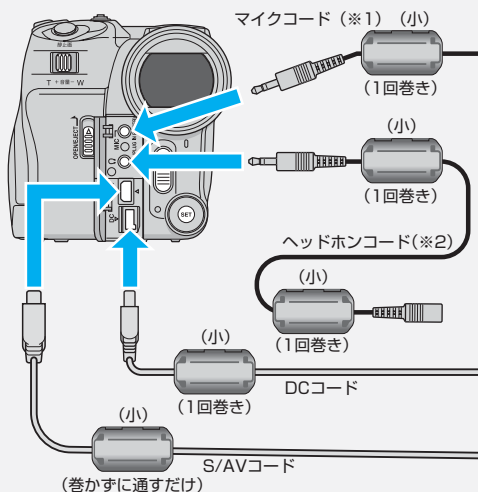
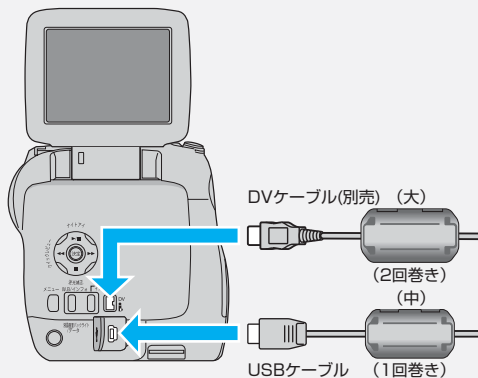
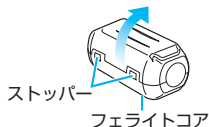
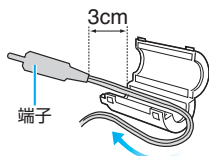
万が一、不足品がございましたら、お買い上げ店、またはサービス窓口にお問いあわせください。

別売アクセサリー

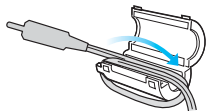
詳しくはカタログをご覧ください。

バッテリーパック	BN-VF714
バッテリーパック	BN-VF733
バッテリーキット	VU-V840KIT
バッテリーキット	VU-V856KIT
バッテリーチャージャー	AA-VF7
DC コード	VC-VBN800

DV ケーブル	VC-VDV204
DV 動画編集パック	GV-DV1500
PC カードアダプター	CU-V51
フロッピーディスクアダプター	CU-V41
USB リーダー / ライター	CU-V70

接続時のノイズをおさえるために

コードやケーブルをお使いの場合は、フェライトコアを必ず取り付けてください。本機と外部機器を接続したときに発生するノイズを軽減できます。

※1　マイクコードは、本機とマイク(別売)を接続するときに使います。
※2　ヘッドホンコードは、本機とヘッドホン(別売)を接続するときに使います。フェライトコアをコードの両端に取り付けてください。

1 両側のストッパーをはずし、開く

2 端子から約3cmの位置に取り付ける

3 指定された回数分巻き付ける

(イラストは1回巻きの説明です)

4 コードをはさみ、カチッと音がするまで閉じる

各部のなまえ

背面

液晶画面 (P.18)
撮影中、再生中に映像が映る。
また、メニューが表示される。

決定

左／ ◀◀ 巻戻し／前へ
／クイックレビュー (P.28)

上／ ▶/II 再生・一時停止
／ナイトアイ（P.42 ）

右／ ▶▶ 早送り／次へ
／フラッシュ（P.40 ）

下／■停止／逆光補正
(P.43)

DV 端子（i-LINK）（P.71 ）

ショルダーストラップ
取り付け部（P.23 ）

USB 端子（P.63 、67）

メニュー（P.72 ）

W.B（P.45 ）
／インフォ (P.33)

液晶画面バックライト
(P.18)
／データ (P.22)

場面切替 (P.48)
／インデックス (P.33)

上面

正面

ズーム (P.29) ／音量レバー
T 撮影時：大きく撮る
再生時：音量大
W 撮影時：広く撮る
再生時：音量小
端子カバー
テープを出し入れするときは、端子カバーをひっかけないように、ヘッドホンなどを取りはずして端子カバーを閉じておくことをお勧めします。
レンズ
カセット取り出しレバー (P.16)
タリー (P.87)
フラッシュ (P.40)
フォーカス SET(P.39)
マイク端子
ヘッドホン端子
S/AV 端子 (P.34 、52、54)
DC 端子 (P.15)
OPEN/EJECT
SET
MIC
S/AV
DC

側面

バッテリー取り付け部 (P.14)
明るさ (P.44)
プログラム AE(P.46)
フォーカスダイヤル (P.39)
フォーカス (P.39)
メモリーカードカバー（P.17 ）
パッド
グリップベルト (P.23)

底面

三脚取り付け穴
バッテリー取りはずしレバー（P.14 ）
製造年表示

ズームボタン
T：大きく撮る
W：広く撮る

撮影スタート／ストップボタン

画面表示ボタン

静止画ボタン

演出効果ボタン

演出効果入／切ボタン

シフトボタン

■リモコンの使いかた

屋内で約 5m

リモコン受光部

リモコン発光部

「❚❚」ボタン（上ボタン）

「◀❙」ボタン（スロー（逆転）ボタン）

「❙▶」ボタン（スロー（正転）ボタン）

「◀◀」ボタン（左ボタン）

「▶▶」ボタン（右ボタン）

「⊳」ボタン（インサートボタン）

「⊖」ボタン（アフレコボタン）

「■」ボタン（下ボタン）

「▶」ボタン（再生ボタン）

■コマ送り再生（ムービーのみ）
「スロー」を押す。
（押すたびに 1 コマ送る）

■再生画面を拡大する
「T」を押して大きくする。
「W」を押して戻す。

■再生画面に効果をつける（ムービーのみ）
「演出効果」を押して効果を選ぶ。

■スロー再生（ムービーのみ）
「スロー」を約 2 秒以上押し続ける。

■拡大した画面を動かす
「シフト」を押しながら ▲、▼、◀、▶ で動かす。

お知らせ ●受光部の正面から操作することをお勧めします。角度によっては操作できない場合があります。また、受光部に直射日光や照明の強い光が当たると、誤作動したり、動作しないことがあります。

撮影画面の見かた

すべての撮影に共通

オート撮影（P.26、38）

感度アップ（P.79）／ナイトアイ（P.42）

プログラムAE（P.46）

白バランス（P.45）

エフェクト（P.75）

明るさ補正（P.43、44）
- 逆光補正
- スポット補正
- 数字　明るさ補正

ズーム倍率（P.29）

ズーム（P.29）

画面の明るさ（P.83）

バッテリー残量（P.108）
m：分
- 多い
- 少ない

マニュアルフォーカス（P.39）

明るさ固定（P.44）

日時（P.20、83）
AM：午前
PM：午後

10×W　T
画面明るさ −　+
±2
50m
2005　12：1
PM．2．00

ムービー撮影　「ビデオ」に設定

連写モード (P.81)
連写
ブラケット
画像サイズ (P.81)
画質設定 (P.81)
スタンダード
ファイン
感度（P.79 ）
100
2560
インターバル
30
PHOTO
±0
残り撮影可能枚数
(P.105)
フラッシュ（P.40 ）
インターバル撮影
(P.81)
／ ピント（P.31 ）
撮影中
PHOTO：静止画 (P.31)
：インターバル
(P.81)
静止画撮影中 (P.31)
／ カード表示
・ カードが入っていないと点滅します。
・ 静止画を読み込んでいるときは、黄色く点滅します。

再生画面の見かた

ムービー再生 「ビデオ」に設定

アフレコ音声 (P.85)
12(16)BIT
12BIT/ アフレコ
12BIT/ ミックス

録画モード
(P.85)

テープ動作
▶ 再生
▶▶ 早送り
◀◀ 巻戻し
❚❚ 静止
❚❚▶ 正転スロー
◀❚❚ 逆転スロー

音声切替 (P.85)
なし ステレオ
L 音声 L(左)
R 音声 R(右)

12BIT
SP
DV入力
MIC
音 量
50m
2005 12: 1
PM. 2.46
01:28:15

ダビング (P.52)

マイク入力

バッテリー残量
(P.108)
m : 分

スピーカー音量
(P.30)
／画面の明るさ (P.83)

タイムコード表示
(P.83)

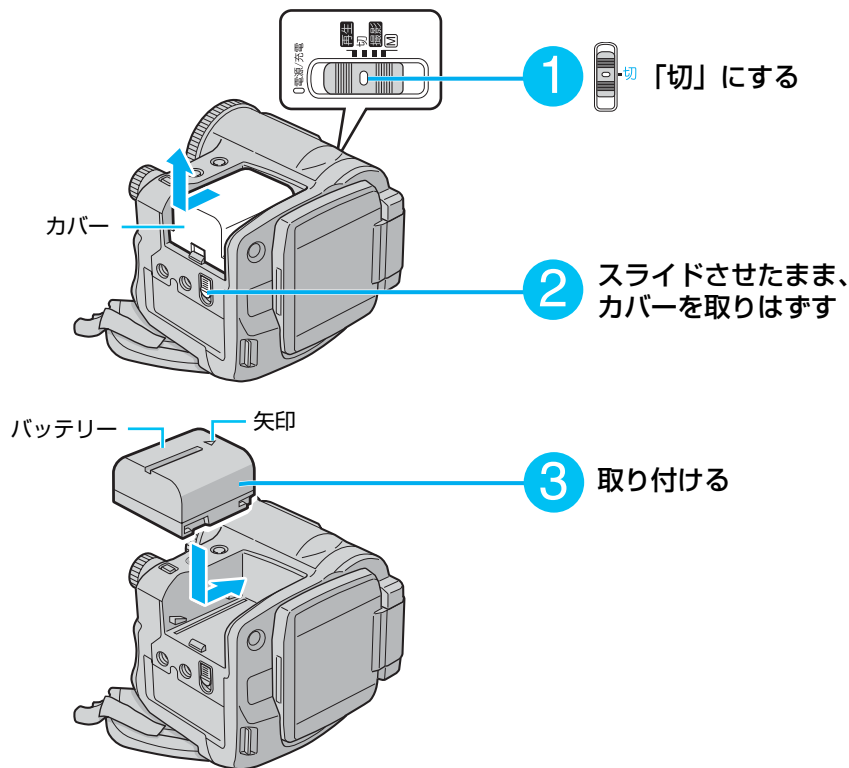
日時 (P.83)
AM : 午前
PM : 午後

静止画再生 「メモリー」に設定

■日付などの表示を消すには
メニューで次のように設定する (P.83)。
・画面表示切替 :「切」または「モニター」
・日時表示 :「切」
・タイムコード :「切」

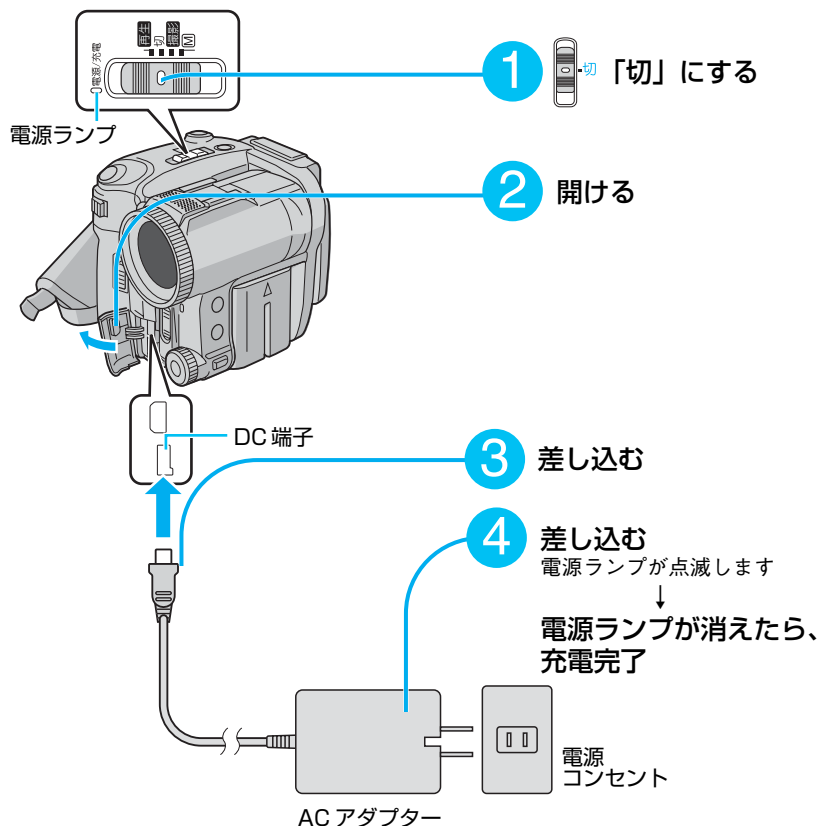
電源を準備する

バッテリーを取り付ける

最初にバッテリーパック (バッテリー) を取り付けてください。

■バッテリーを取りはずすには
手順 1 ～ 2 の操作で取りはずす。

お知らせ ●手順 3 で、バッテリーの代わりにカバーを取り付けないでください。カバーを取り付けると、充電できません。カバーの表面には、矢印 (△) がありません。

ACアダプターで充電する

ACアダプターを取り付けて、撮影のまえにバッテリーを充電してください。

■充電が終わったら
ACアダプターをビデオカメラと電源コンセントから抜く。

■自宅で使うときなどは
ACアダプターを取り付けると、バッテリーの残量を気にせずに使うことができる。

■充電時間の目安
「充電時間の目安」(P.107)

■バッテリー残量を調べるには
「バッテリー残量を調べる」(P.22)

準備する 2 テープとカードを入れる

テープを入れる

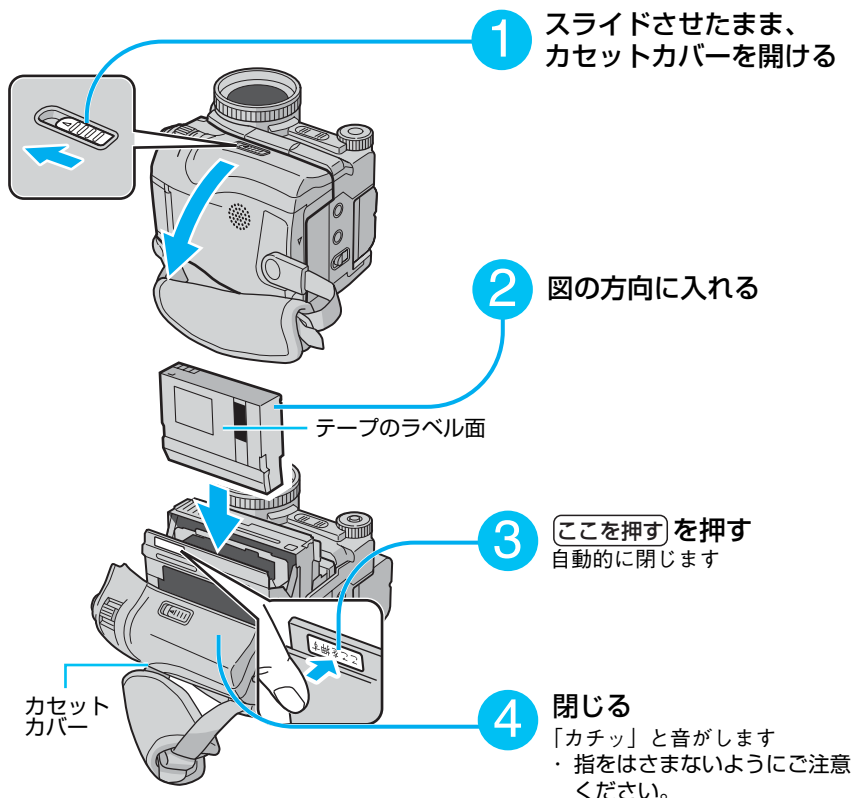
動画 (以下、ムービー) を撮影するには、別売のミニ DV カセットテープ (以下、テープ) を使います。

準 備
●バッテリーを取り付ける (P.14)
●AC アダプターで充電する (P.15)

1 スライドさせたまま、カセットカバーを開ける

2 図の方向に入れる

3 ここを押す を押す
自動的に閉じます

4 閉じる
「カチッ」と音がします
・ 指をはさまないようにご注意ください。

■テープを取り出すには
手順 1 のあと、テープを取り出し、手順 3 と手順 4 を行う。

カードを入れる

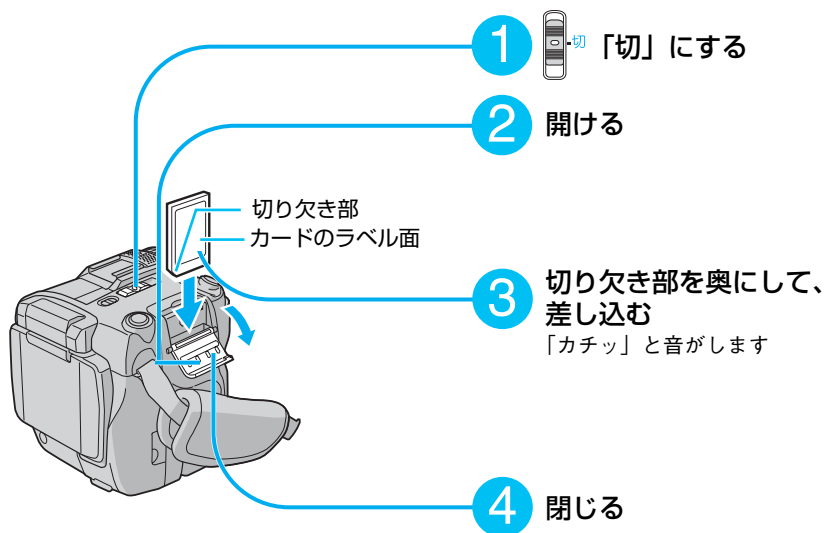
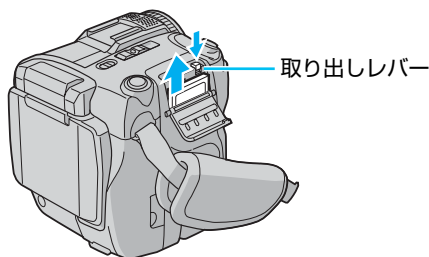
静止画を撮影するには、市販の SD メモリーカードやマルチメディアカード (以下、カードと総称) を使います。

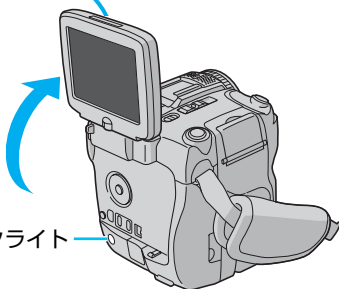
切り欠き部
カードのラベル面

1 切 「切」にする

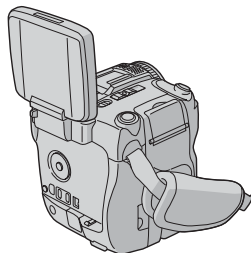
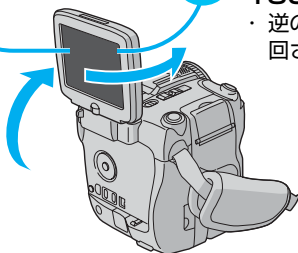
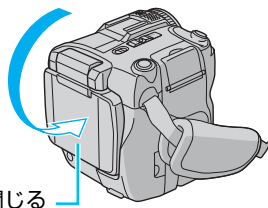
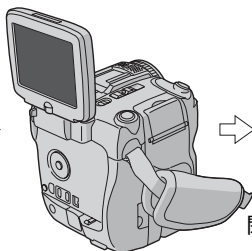
2 開ける

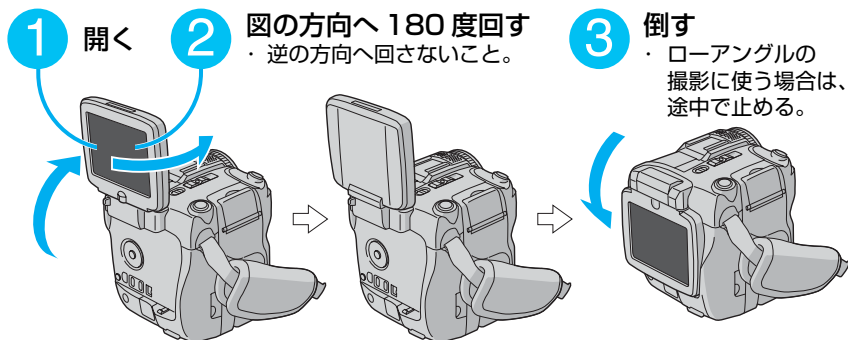
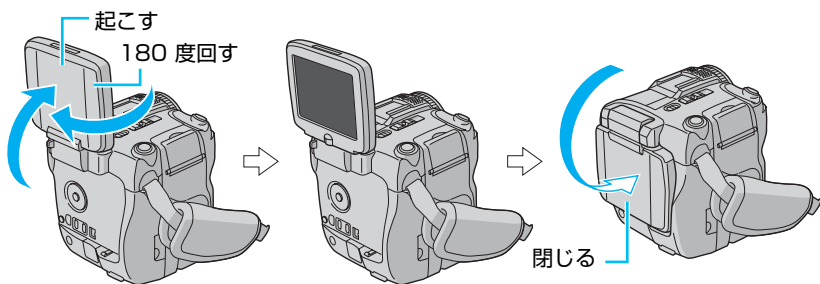
3 切り欠き部を奥にして、差し込む
「カチッ」と音がします

4 閉じる

■カードを取り出すには
手順 2 のあと、取り出しレバーを「カチッ」と音がするまで押し込み、カードを取り出す。

■新しく買ったカードを使うには
はじめて使用するときは、「フォーマット」(P.66) が必要です。

画面を準備する

■画面の明るさを調節するには
「画面明るさ」(P.83)

■明るすぎる場所で使うには
強い日差しなどによって画面が見にくくなる場合は、液晶バックライトボタンを押すと、画面を暗くなって見やすくなる。さらに、バッテリーの消費を抑えることができる。
元に戻すには、液晶バックライトボタンをもう 1 度押す。

自分を撮る

■元に戻すには

レンズを目線にあわせる／ローアングルで撮る

■元に戻すには

本機を横向きして撮る 首振りアングル

画面を左右に回すと、本機を右や左に向けて撮影できます。

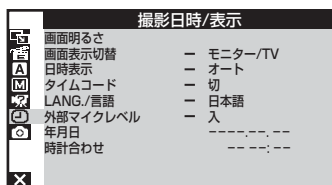
ご注意

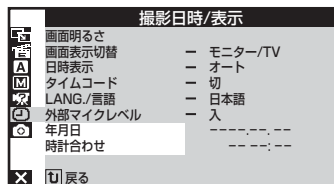
●回転できる範囲は、 図の方向に 90 度まで、図の逆向き (自分を撮るときの回転方向) に 180 度までです。

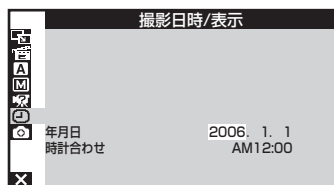
●力を加えて無理に回すと、本機が故障するおそれがあります。

(90 度回した状態)

準備する 4 時計をあわせる

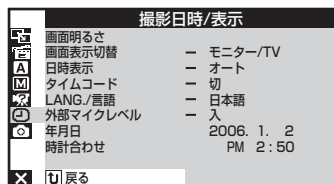
お買い上げ時に年月日と時刻表示を設定してください。
海外旅行の際には、現地の日時に設定することをお勧めします。

「年月日時計合わせ」を
上下ボタンで選び、

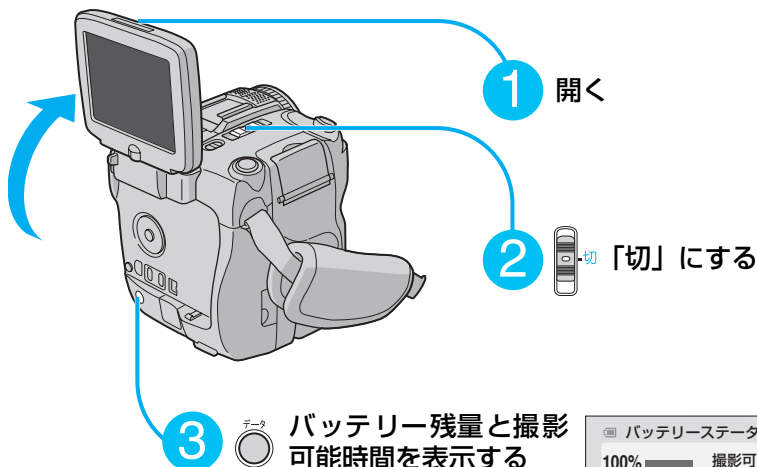
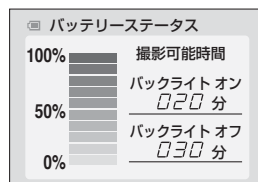
決定する
西暦が反転します

西暦を上下ボタンで
正しく設定し、

決定する

月日と時計の順に
同様に設定し、

決定する

「戻る」を上下ボタンで
選び、

2 回決定する
撮影画面に戻ります

お知らせ ●時刻を設定しても「日時を設定して下さい」と表示され続けるときは、時計用の内蔵電池が消耗しています。お買い上げの販売店、または最寄りのビクターサービス窓口へご連絡ください。

準備する 5 バッテリー残量を調べる

■通信エラーと表示されたときは

・データボタンを何度か押してみる。

・電源 (バッテリーと AC アダプター) を取りはずし、再び取り付け、データボタンを押してみる。

それでも通信エラーと表示されるときは、お買い上げ店またはビクターサービス窓口にお問い合わせください。

■より正しいバッテリー残量を得るには

バッテリー残量を正しく表示していないと思ったときは、バッテリーをいったん満充電にしてから使い切り、改めて充電する。

ただし、高温 / 低温で長時間使ったバッテリーや、何度も充電を繰り返したバッテリーでは、この操作を行ってもバッテリー残量を正しく表示できないことがあります。

お知らせ ●撮影可能時間は目安です。10 分単位の表示になります。

準備する 6

付属品を取り付ける

ショルダーストラップを取り付ける

取り付け部

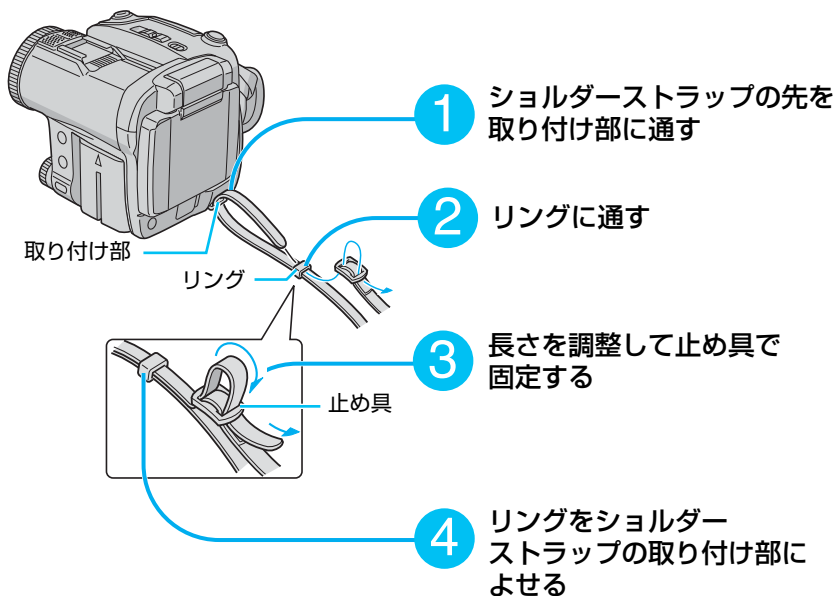
リング

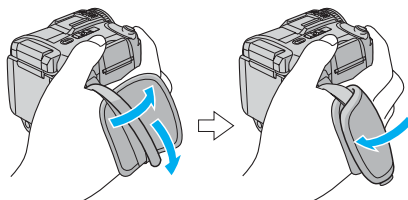
止め具

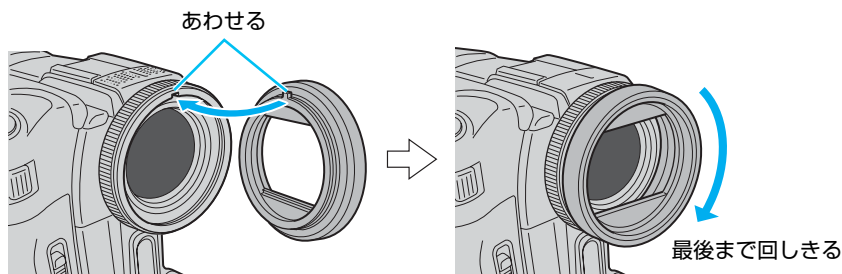
1 ショルダーストラップの先を取り付け部に通す

2 リングに通す

3 長さを調整して止め具で固定する

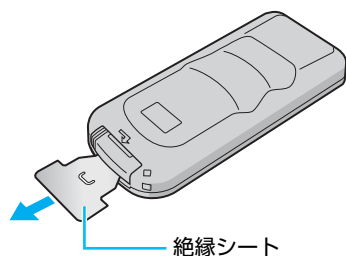
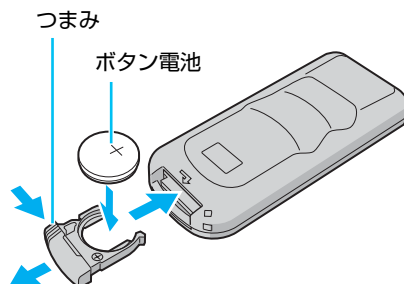
4 リングをショルダーストラップの取り付け部によせる

グリップベルトを調節する

軽くにぎって安定するように調節しておくと、長時間でも楽に撮影できます。

レンズフードを取り付ける

屋外などの撮影で強い光がある場合、レンズ内で光が反射し、被写体が白っぽくなることがあります (フレア)。フレアを防止し、さらにレンズを保護するために、レンズフードを取り付けます。

■レンズフードを取りはずすには
図と逆の方向に回す。

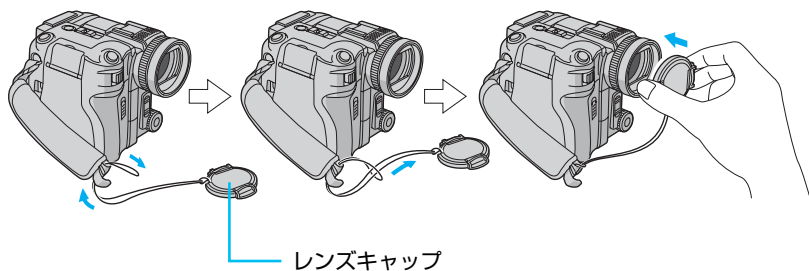
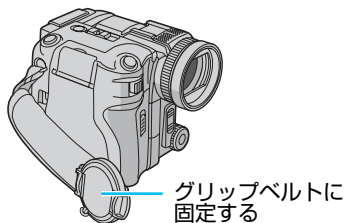
■コンバージョンレンズやレンズフィルターを取り付けるときは
レンズフードを取りはずしてから、取り付ける。
レンズフードの上から取り付けると、画面の四隅が暗くなることがある (ケラレ)。

リモコンを準備する

リモコンから絶縁シートを引き出す。

■電池を入れ替えるときは
つまみを押したまま引き出し、新しいボタン電池に入れ替える。

レンズキャップを取り付ける

撮影しないときは、レンズの保護のために取り付けます。

■撮影するときは

撮影・再生の基本操作

撮影・再生・編集など、すべての場面に共通する操作です。以降のページでは、これらの操作説明を 準 備 として省略する場合があります。

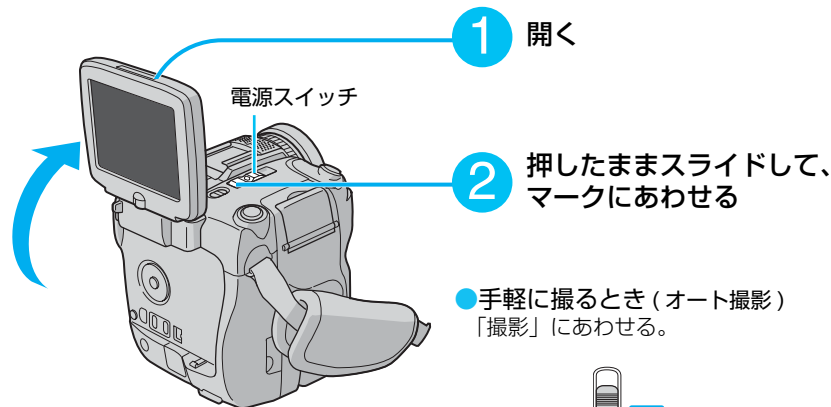
電源を入れる 電源スイッチ

電源スイッチ

1 開く

2 押したままスライドして、マークにあわせる

●手軽に撮るとき（オート撮影）
「撮影」にあわせる。

撮影

●設定して撮るとき（マニュアル撮影）
「Ⓜ」にあわせる。(P.38）

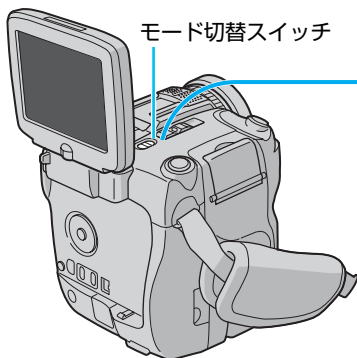
Ⓜ

●再生や編集するとき
「再生」にあわせる。

再生

■電源を切るには
電源スイッチをスライドして、「切」にあわせる。

お知らせ ●電源スイッチが「撮影」や「Ⓜ」のときは、液晶画面の開閉で電源の入／切ができます（クイックパワーオフ）。

テープ／カードを選ぶ モード切替スイッチ

●ムービーを撮るとき／見るとき
「ビデオ」にあわせる。

ビデオ

●静止画を撮るとき／見るとき
「メモリー」にあわせる。

撮影に失敗しないためには

撮影時にビデオヘッドが汚れていると、正常に記録できません。
撮影のまえに試し撮りをして再生し、映像と音声が正常に記録されていることを確認してください(P.88)。

すぐ使う 2 ムービーを撮る

準 備 ●電源スイッチ　　　　　:「撮影」または「M」
●モード切替スイッチ:「ビデオ」

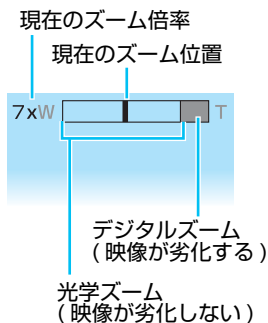
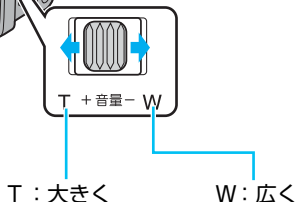
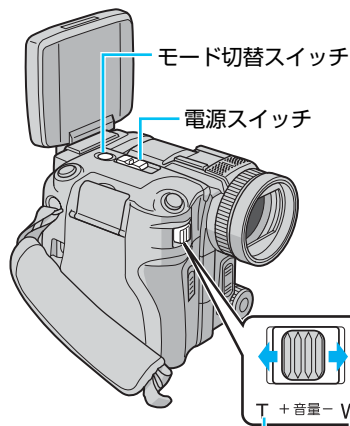
■続きから撮るには
ブランクサーチする (P.85)。

■撮影のまえに直前のムービーを確かめるには
クイックレビューボタン (◀◀) を押す。数秒分のテープが巻戻って再生され、再生が終わると元の状態に戻る。

お知らせ
●節電とテープ保護のため、操作せずに約 5 分経つと電源が自動的に切れます。撮影を再開するには、電源スイッチを動かすか、液晶画面を一度閉じて再び開きます。
●テープ残量が表示されるまで、撮影開始から約 10 秒かかります。

大きく／広く撮る ズーム

被写体を大きくしたり(望遠：T)、撮影する範囲を広くしたり(広角：W)、撮影中に自由に調節できます。

準 備
●電源スイッチ　　　　：「撮影」または「Ⓜ」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」

■接写するには
W側いっぱいまで動かす。被写体に約5cmまで接近できます。

■デジタルズームを使わずに撮るには
メニューで「ズーム」を「10倍」に設定する(P.79)。

■静止画を撮るときは
8倍までのズームを使って撮影できます。

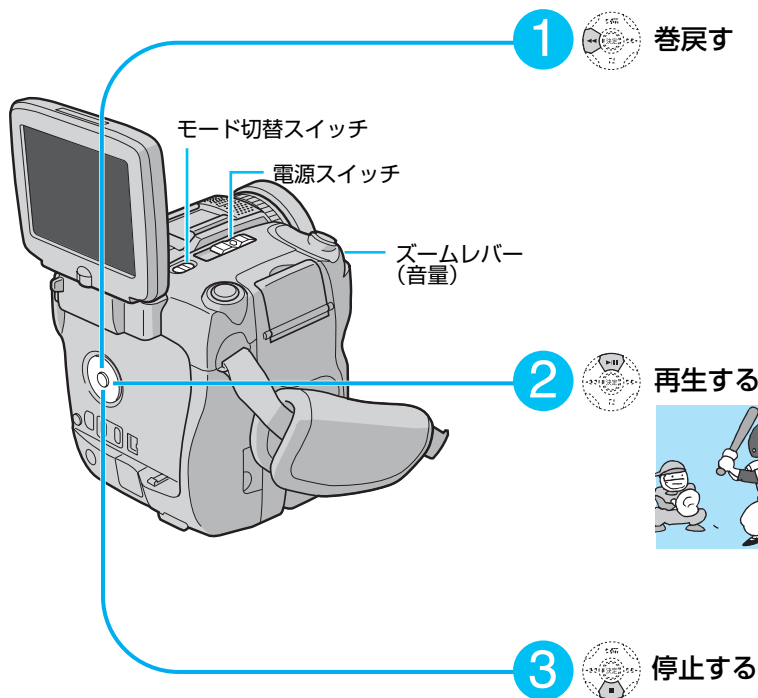
すぐ使う 3 ムービーを見る

準備
- 電源スイッチ　　　　　：「再生」
- モード切替スイッチ：「ビデオ」

モード切替スイッチ
電源スイッチ
ズームレバー
（音量）

1 巻戻す

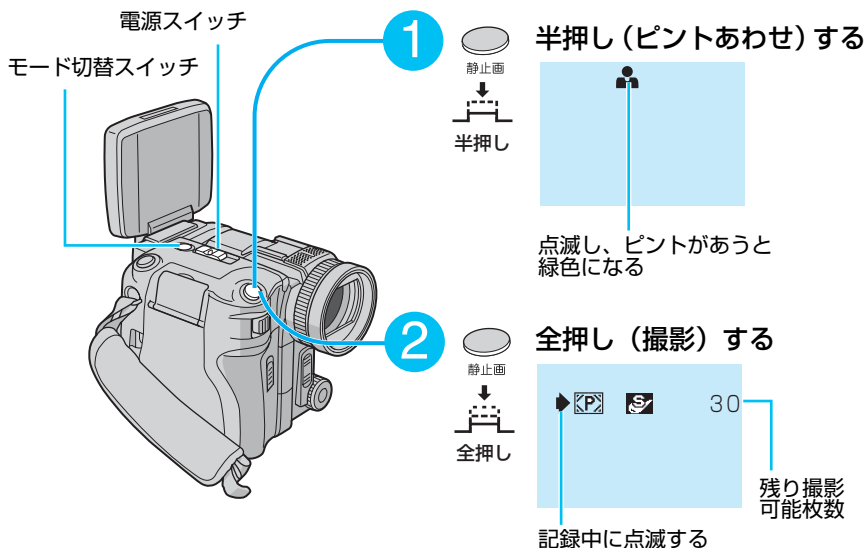
2 再生する

3 停止する

■スピーカーやヘッドホンの音量を調節するには
ズームレバーを動かす。

■パソコンで見るには
「ムービーをパソコンに取り込む」
(P.71)

■映像にノイズがでたり、音声がおかしいときは
ビデオヘッドをクリーニングする (P.88)。

すぐ使う 4 静止画を撮る

準備
●電源スイッチ　　　　：「撮影」または「M」
●モード切替スイッチ：「メモリー」

■**撮った静止画をすぐ見るには**
電源スイッチを「再生」にする。

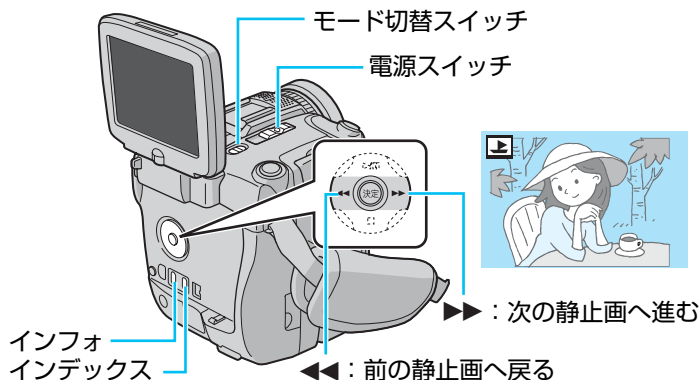
■**より多く撮るには**
画質や画像サイズを変更する (P.81)。

■**連写するには**
メニューで「連写モード」を「入」に設定し、静止画ボタンを押し続ける (P.81)。

■**定期的に静止画を撮るには**
インターバル撮影する (P.81)。

お知らせ ●節電のため、操作せずに約 5 分経つと電源が自動的に切れます。撮影を再開するには、電源スイッチを動かすか、液晶画面を一度閉じて再び開きます。
●撮影可能枚数は、お使いのカードの容量や、静止画の画質やサイズによって変わります (P.105)。

すぐ使う 5 静止画を見る

準備
● 電源スイッチ　　　　：「再生」
● モード切替スイッチ：「メモリー」

■パソコンで見るには
「パソコンに接続する」(P.67)

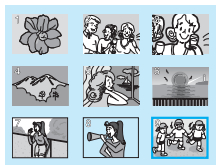
続けて再生する スライドショー

1 **スライドショーを始める**

2 **停止する**

■逆方向に再生するには
スライドショーの再生中に「◀◀」ボタンを押す。

一覧で表示する インデックス

1 インデックス インデックスを表示する

2 静止画を選び、

決定する

静止画の情報を見る インフォ

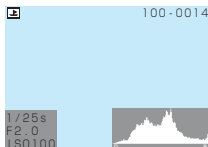
1 インフォ 静止画の情報を表示する

フォルダ	：100JVCGR
ファイル	：DVC00001
日付	：2006. 1. 1
サイズ	：2560×1920
画質	：ファイン
プロテクト	：OFF

■元の画面に戻るには
インフォボタンを何度か押す。

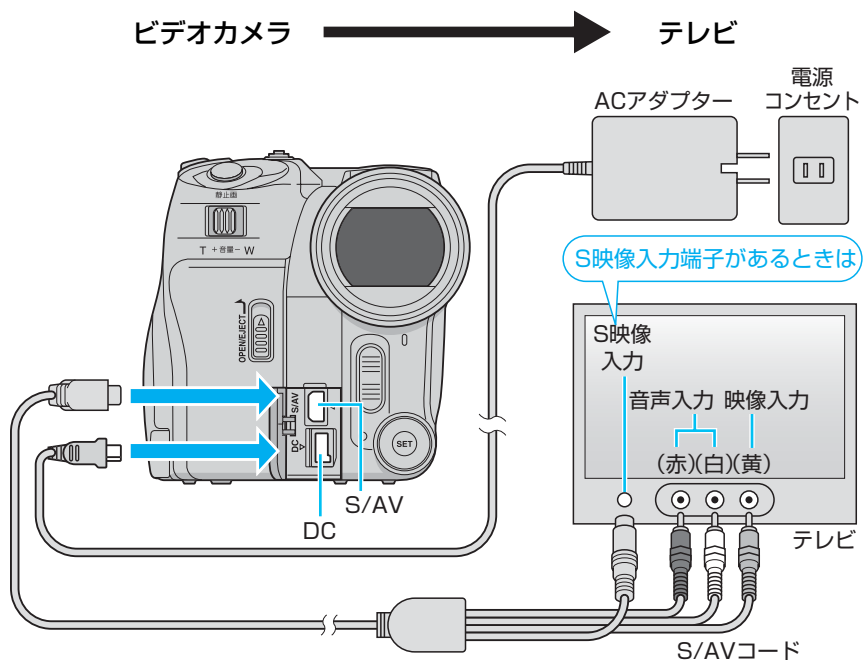
静止画の明暗分布を見る ヒストグラム

静止画の明るさをグラフで確認できます。グラフの山が右にあるほど明るいことを、左にあるほど暗いことを意味しています。

1 インフォ 2 度押し、ヒストグラムを表示する
・ 横軸：明るさ
・ 縦軸：画素数

■元の画面に戻るには
インフォボタンを何度か押す。

■静止画が明るすぎるときは／暗すぎるときは
グラフの山が右端で途切れているときは明るすぎ、左端で途切れているときは暗すぎる。
適正な明るさにするには、明るさを補正 (P.43) してグラフの山が途切れないようにする。

テレビで見る

準備 ●テレビの表示を、ビデオカメラを接続した外部入力 (ビデオ 1、ビデオ 2 など) にあわせる

■再生するには
ビデオカメラで見るときと同じ操作で再生する。ムービー (P.30)、静止画 (P.32)。

■日付などを表示するには
メニューで「画面表示切替」を設定する (P.83)。

お知らせ ●お使いのテレビの説明書もあわせてご覧ください。

日常のお手入れ／海外で使うときは

お手入れのまえに、バッテリーとACアダプターを取りはずしてください。

本体	●乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取る。 ●汚れがひどい場合は薄めた中性洗剤を浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で水分を拭き取る。 ご注意 ●ベンジンやシンナーは使わない。損傷や故障の原因になります。 ●化学ぞうきんや洗剤を使う場合は、製品の注意書きに従う。 ●ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない。
レンズ・液晶画面	●市販のレンズブロワーでホコリを落とし、市販のクリーニングクロスなどで汚れを拭く。汚れたまま放置しておくと、カビ発生などの原因になります。

本機は海外でも、ACアダプターを使ってバッテリーを充電したり、コンセントから直接電源を確保できます。ただし、コンセントの形状は国によって異なりますので、変換プラグが必要です。

訪問国にあった変換プラグをご用意ください

コンセントの形状（主な使用国）	（北米･南米など）	（オーストラリア）	（ヨーロッパ）		
使用する変換プラグ	必要ありません				

次の訪問国では、現地のテレビでも再生できます

映像・音声入力端子付きテレビが必要です。詳しくは「テレビで見る」(P.34)をご覧ください。

■アメリカ合衆国
■韓国
■コスタリカ
■トリニダード・トバコ
■バハマ
■フィリピン
■ペルー
■ミクロネシア
■エクアドル
■キューバ
■コロンビア
■ドミニカ
■バミューダ
■プエルトリコ
■ホンジュラス
■ミャンマー
■エルサルバドル
■グァテマラ
■スリナム
■ニカラグア
■バルバドス
■米領サモア
■ボリビア
■チリ
■カナダ
■グアム
■台湾
■ハイチ
■パナマ
■ベネズエラ
■メキシコ

もっと撮る 1 撮影効果を演出する

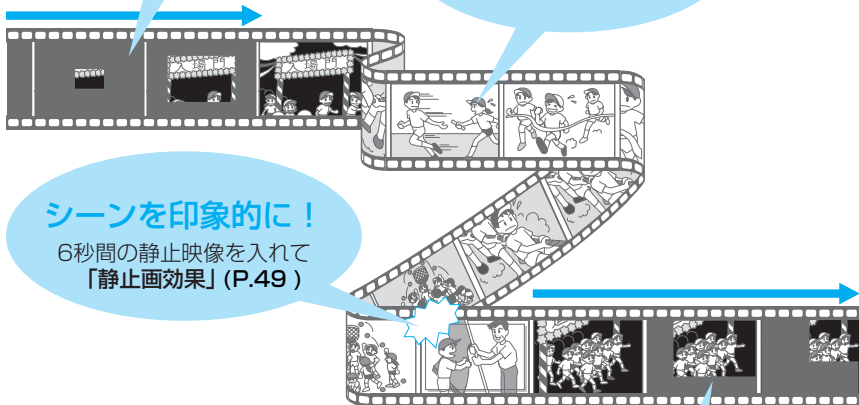
マニュアル撮影 (P.38) では、目的やシーンにあわせて撮影できます。

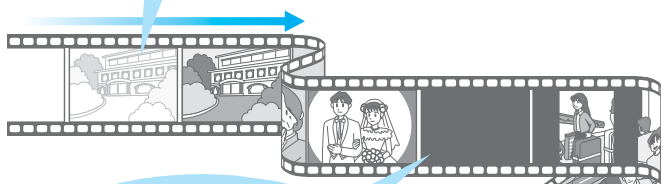
始まりにひと工夫！
ワイプインで映像が登場
「ワイプ:ウインドウ」
(P.48 、75)

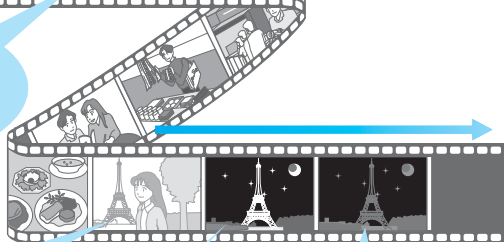
スポーツには！
動きは速くてもハッキリ撮れる
「スポーツ」(P.47)

シーンを印象的に！
6秒間の静止映像を入れて
「静止画効果」(P.49)

終わりにひと工夫！
ワイプアウトで映像も退場
「ワイプ:コーナー」
(P.48 、75)

色々な効果を
液晶画面で見るには
デモモードが便利！
(P.87)

シーンの幕開けは…

フェードインで美しく演出
「フェーダー:白」
(P.48 、75)

違う場面の境目に

続けて撮っても自然につながる
「ワイプ:シャッター」
(P.48 、75)

セピア色の思い出

古い映画の雰囲気で…
「セピア」(P.75)

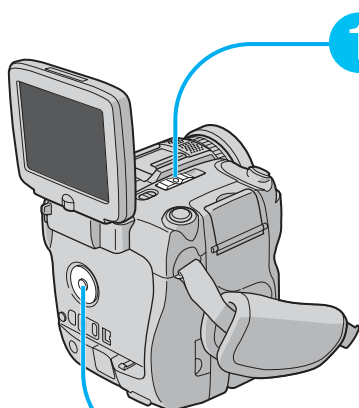
シーンの幕引きに…

フェードアウトで更けてゆく夜を
「フェーダー:黒」
(P.48 、75)

夜景もキレイ!

自然な映像で
「夜景」(P.47)

マニュアル撮影をする

ピントを手動で調節したいときや、映像に効果（エフェクト）を加えて撮影したいときなどは、あらかじめマニュアル撮影に切り替えます。

1 押したままスライドして、「M」にあわせる

「撮影」から「M」に切り替えると、画面からオート撮影アイコンが消えます

2 調節または設定する

- ピントを手動であわせる (P.39)
- 暗いところで撮る (P.40)
- 明るさを補正する (P.43)
- 色を調節する (P.45)
- 映像に変化をつける (P.46 , 74)
- その他を設定する (P.76)

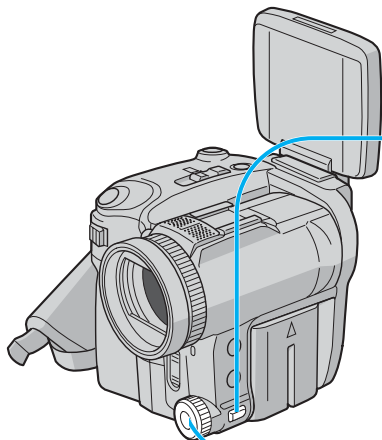
3 撮影する

- ムービーを撮る (P.28)
- 静止画を撮る (P.31)

お知らせ ●手順 2 の調節および設定は、電源スイッチを「撮影」にあわせると一時的に解除されます。しかし、電源スイッチを「M」に戻すと、再び同じ条件で撮影できます。

もっと撮る 3 ピントを手動であわせる

通常の自動撮影（オートフォーカス）でピントがあいにくい場合や、画面端の被写体にピントをあわせたいときなどに行います（マニュアルフォーカス）。

準備
●電源スイッチ　　　　：「M」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」

1 マニュアルフォーカスに切り替える

2 ピントをあわせ、決定する

■決定後に再び調節するには
手順 1 からもう 1 度操作する。

■オートフォーカスに戻すには
マニュアルフォーカスの表示が消えるまで、フォーカスボタンを押す。

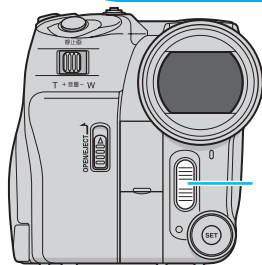
■ズームするときは
望遠（T）側でピントをあわせてから広角（W）側にズームすると、ピントがずれない。

暗いところで撮る

フラッシュを使う

静止画を撮影する際に、フラッシュを発光させたり、被写体の目が赤くなる現象 (赤目) を軽減したりできます。

準備
- 電源スイッチ　　　　：「撮影」または「M」
- モード切替スイッチ：「メモリー」

フラッシュの設定の例

■ フラッシュを発光させないためには
手順 2 で「切」を選ぶ。

アイコン	機能名	説明
⚡±0A	●オート	周囲が暗いと自動的に発光する。
👁⚡±0	赤目	周囲が暗いと自動的に、2 回連続発光して赤目を軽減する。
⚡±0	強制オン	必ず発光する。
⚡±0S	スローシンクロ	シャッタースピードを遅くして必ず発光することで、人物と背景をともに明るく撮影する。(先幕)
なし	切	発光しない。

●印は、お買い上げ時の設定です。

■フラッシュの明るさを調節するには

メニューで「フラッシュ明るさ」を設定する (P.77)。

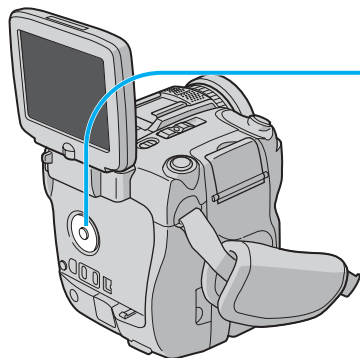
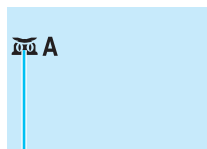
■フラッシュのアイコンが点滅するときは

アイコンが点灯するまで待つ。フラッシュは充電中です。

お知らせ
- ●フラッシュ、連写、ブラケットなどは、同時に使えません。
- ●コンバージョンレンズを使用すると、画面の周囲に黒い枠 (ケラレ) ができる場合があります。このような場合、ズームレバーを T 側に動かすと、黒い枠ができにくくなります。
- ●モード切替スイッチを「ビデオ」にあわせて、撮影停止中に、静止画ボタンを押して静止画効果を入れると (P.49)、静止画と同じようにフラッシュが発光します。

ナイトアイを使う

薄暗いところでは、より多くの光を取り込んで明るく撮影できます。

準 備 ●電源スイッチ　　　　:「M」
●モード切替スイッチ:「ビデオ」または「メモリー」

■明るいときは
表示から「A」が消え、一時的に通常の撮影に戻る。

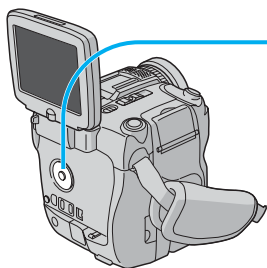
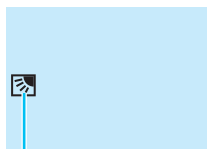
■通常の撮影に戻すには
ナイトアイボタン（▶II）を押して を消す。

お知らせ ●シャッター速度が遅くなるためにブレやすくなります。三脚などで固定することをお勧めします。
●真っ暗な場所では撮影できません。

もっと撮る 5
明るさを補正する

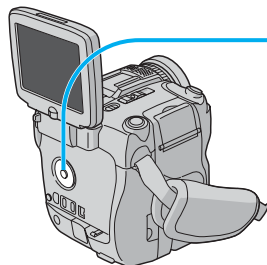
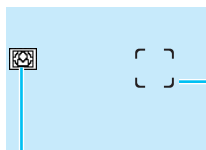
逆光で撮る 逆光補正

被写体の背後から光がさしているとき、被写体が暗くならないようにします。

準 備
●電源スイッチ　　　　：「M」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」

■通常の撮影に戻すには
や が消えるまで、逆光補正ボタン（■）を押す。

最適な明るさにする スポット補正

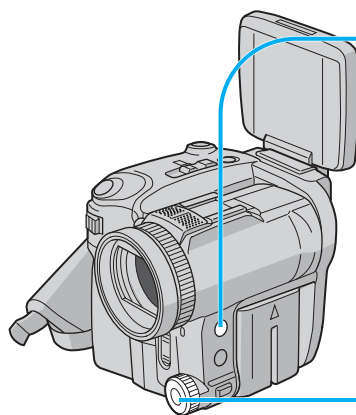
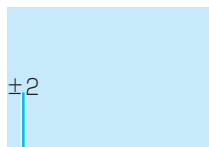
逆光補正がうまくいかないときや、画面の一部にあわせて明るさを補正したいときなどに使います。

準 備
●電源スイッチ　　　　：「M」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」

2 スポット枠を左右に動かして明るさの基準にする場所を選び、決定する

■通常の撮影に戻すには
[icon] や [icon] が消えるまで、逆光補正ボタン (■) を押す。

■明るさを固定するには
手順 2 で決定ボタンを 2 秒以上押し続け、[icon] の隣に [L] を表示させる。

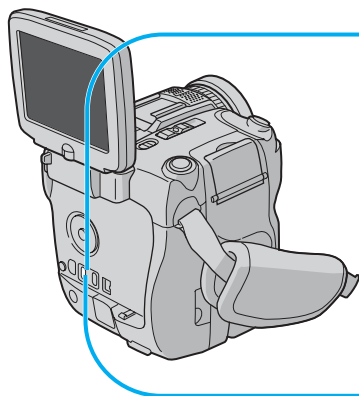
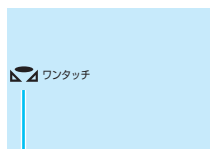
手動で明るさを補正する

準 備
● 電源スイッチ　　　　　:「M」
● モード切替スイッチ :「ビデオ」または「メモリー」

■通常の撮影に戻すには
明るさボタンを押して表示を消す。

■明るさを固定するには
手順 2 で SET ボタンを 2 秒以上押し続け、明るさ補正の数値の隣に [L] を表示させる。
続いて、もう一度決定ボタンを押し、[L] を [L] にする。

もっと撮る 6 色を調節する 白バランス

光源にあわせて白バランスを設定すると、より自然な色合いで撮影できます。

準備
●電源スイッチ　　　　：「M」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」

■通常の撮影に戻すには
手順 2 で「オート」を選ぶ。

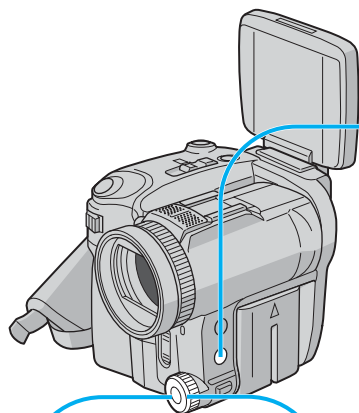
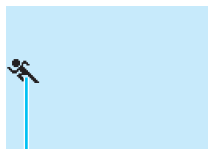
アイコン	機能名	役割
なし	●オート	白バランスを自動的に調節させるときに選ぶ。
(ワンタッチアイコン)	ワンタッチ	被写体の色をより正確に調節する。 ①白い紙を用意し、画面全体に映し出す。 ②「(ワンタッチアイコン)」の点滅が止まるまで、W.B ボタンを押し続ける。
(はれアイコン)	はれ	晴れた日の屋外で撮影するときに選ぶ。
(くもりアイコン)	くもり	曇りの日や日陰で撮影するときに選ぶ。
(ハロゲンアイコン)	ハロゲン	撮影用ライトなど、照明の下で撮影するときに選ぶ。

●印は、お買い上げ時の設定です。

映像に変化をつける

プログラム AE を使う

暗いところでフラッシュを使わずに撮影するときや、動きの速い被写体を鮮明に撮影したいときなどは、プログラム AE 機能を使います。

準備
- 電源スイッチ　　　　　：「M」
- モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」

プログラム AE の表示

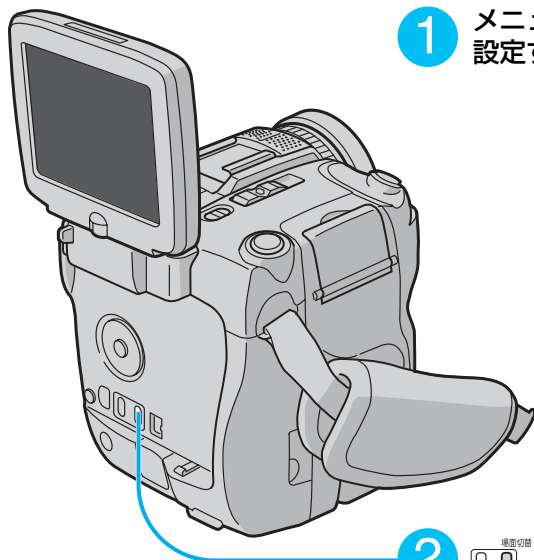
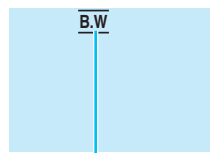
■通常の撮影に戻すには
手順 2 で「切」を選んで決定する。

アイコン	機能名	役割
なし	●切	プログラム AE を使わずに撮影するときに選ぶ。
	夜景	夜景などを自然な感じに撮影したいときに選ぶ。
	ポートレート	背景をぼかし、人物を浮き上がらせたいときに選ぶ。
	スポーツ	動きの速い被写体を、1 コマ 1 コマ鮮明に撮影したいときに選ぶ。
	スノー	晴れた日の雪原など、周囲が明るく映りすぎるときに選ぶ。
A (F1.8 ～ F8.0)	絞り優先	絞り (F 値) を設定して、絞りによる撮影効果を狙うときに選ぶ。 ・ F 値を小さくする (絞りを開ける) と、ピントのあう範囲が狭くなり、背景がボケた柔らかい印象の映像になる。(被写体が明るくなることがあります。) ・ F 値を大きくする (絞る) と、背景までピントのあった映像になる。(被写体が暗くなることがあります。) 「ビデオ」にした場合、F1.8 ～ F8.0 の範囲で設定できる。 「メモリー」にした場合、F1.9 ～ F5.6 の範囲で設定できる。
S (1/60 ～ 1/4000)	シャッター優先	シャッター速度を設定して、シャッター速度による撮影効果を狙うときに選ぶ。 ・ 数値を小さくする (シャッター速度を上げる) と、動きの速い被写体を 1 コマ 1 コマ鮮明に撮影できる。(被写体が暗くなることがあります。) 「ビデオ」にした場合、1/4000 まで設定できる。 「メモリー」にした場合、1/500 まで設定できる。 「メモリー」にしてフラッシュを使う場合、1/250 まで設定できる。 ・ 数値を大きくする (シャッター速度を下げる) と、動きのある被写体の流れを撮影できる。(手ブレしやすくなるので、三脚などで固定することをお勧めします。)

●印は、お買い上げ時の設定です。

撮影の前後に効果を入れる 場面切替

撮影開始時 (イン) と終了時 (アウト) の撮影ボタンを押した直後に、設定した効果があらわれます。

準 備
● 電源スイッチ　　　　：「M」
● モード切替スイッチ：「ビデオ」

場面切替の表示

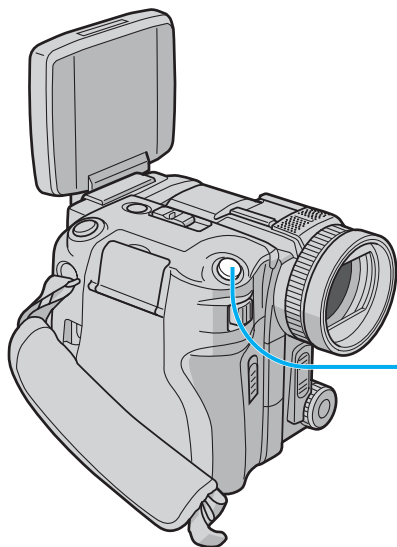
画面上に、設定した場面切替のアイコンが表示される

■ 通常の撮影に戻すには
場面切替ボタンを押して表示を消す。

静止画効果を入れる 記念写真

ムービーに静止映像を入れて、印象的な写真のような効果を出すことができます。

準 備 ●電源スイッチ　　　　：「撮影」または「M」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」

1 メニューで「静止画モード」を設定する (P.79)

フル

ネガ

フレーム

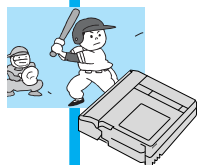
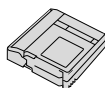
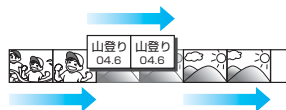
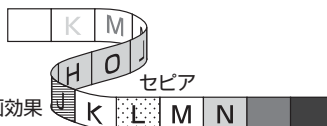
2 撮影する

押した瞬間の画像が、6 秒間、静止したまま録画されます

■連写するには
「静止画」ボタンを押し続ける。

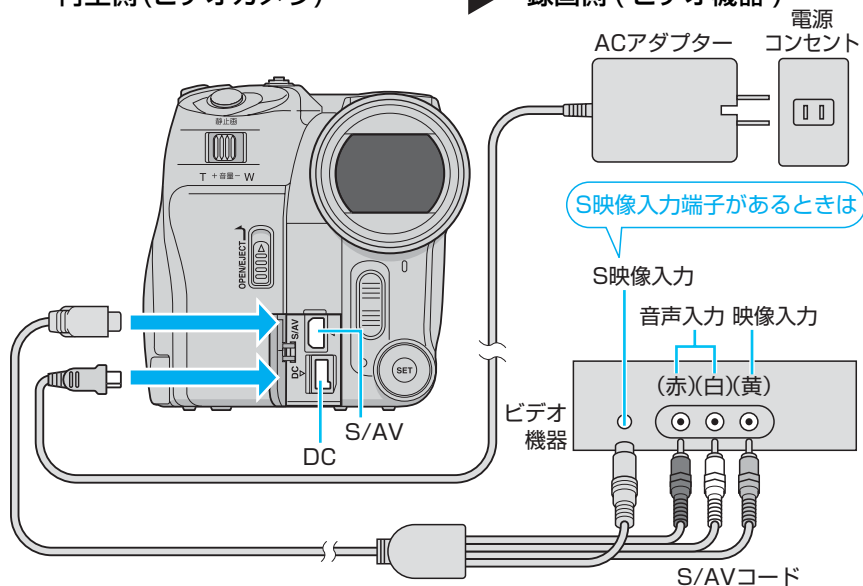
■同時にカードにも撮るには
メニューで「記録選択」を設定する (P.81)。

編集する 1 いろいろな編集

テープに撮影したムービーは、いろいろな方法で編集できます。映像を直接加工したり、ダビングやコピーしたりできます。

編集のしくみ		ページ
追加した音声 A B C D E F 元の音声	●元の音声はそのまま、 ナレーションや BGM を追加！ ●再生する音声も後から選べる。	P.56 P.58
（編集後） 山登り 04.6 山登り 04.6	●元の映像の上に、 タイトルや場面を挿入！	P.56 P.57
映画効果 セピア K M H O J K L M N	●効果をつけた映像をダビング！ ●場面の切れ目を自然に… ●アップや雰囲気づくりも簡単。	P.10 P.52
（再生中） A B C D E F （ダビング後） A D E H I J	●不要な場面は 飛ばしてダビング！	P.10 P.52
ベストショット！	●写真プリントができる！ ●パソコンに取り込んで、 メールやホームページに活用！	P.59 P.67

ダビングする

ビデオカメラのテープから、ビデオ機器のディスクやテープへダビング (複製) して保存できます。

接続する

準 備
- 電源スイッチ　　　　:「切」
- モード切替スイッチ :「ビデオ」

■デジタルダビングするときは
ビデオカメラの DV 端子（P.8 ）と、ビデオ機器の DV 入力端子を、DV ケーブル (別売) で接続する。S/AV コードは使いません。
デジタルダビングでは、設定した効果やタイムコードはダビングされません。

お知らせ ● お使いのビデオ機器の説明書もあわせてご覧ください。

ダビング（複製）する

再生側（ビデオカメラ）	録画側（ビデオ機器）
	（ビクター製ビデオデッキの場合）

「再生」にする

電源が入ります

●映像に効果をつけるには
　リモコンの「演出効果」
　を押して効果を選ぶ。

再生する

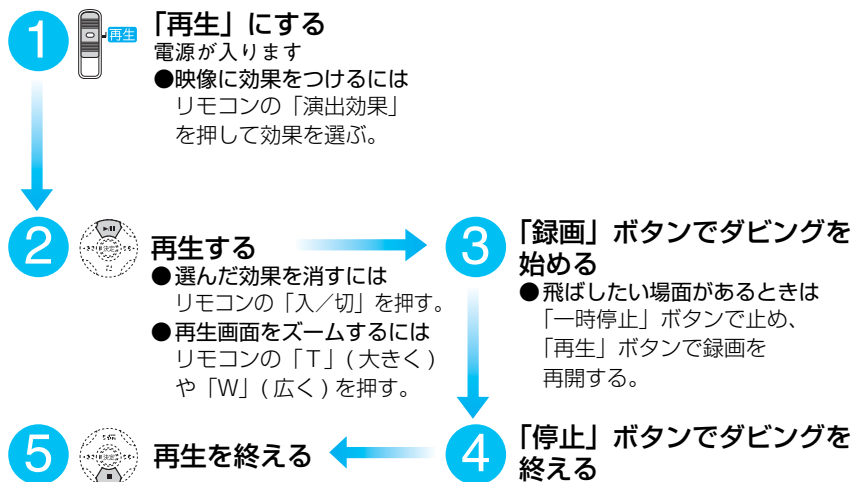
●選んだ効果を消すには
　リモコンの「入／切」を押す。

●再生画面をズームするには
　リモコンの「T」（大きく）
　や「W」（広く）を押す。

「録画」ボタンでダビングを始める

●飛ばしたい場面があるときは
　「一時停止」ボタンで止め、
　「再生」ボタンで録画を
　再開する。

「停止」ボタンでダビングを終える

再生を終える

■日付などの表示を消すには

手順 1 のあと、メニューで次のように設定する（P.83 ）。

・画面表示切替：「切」または「モニター」

・日時表示　　：「切」

・タイムコード：「切」

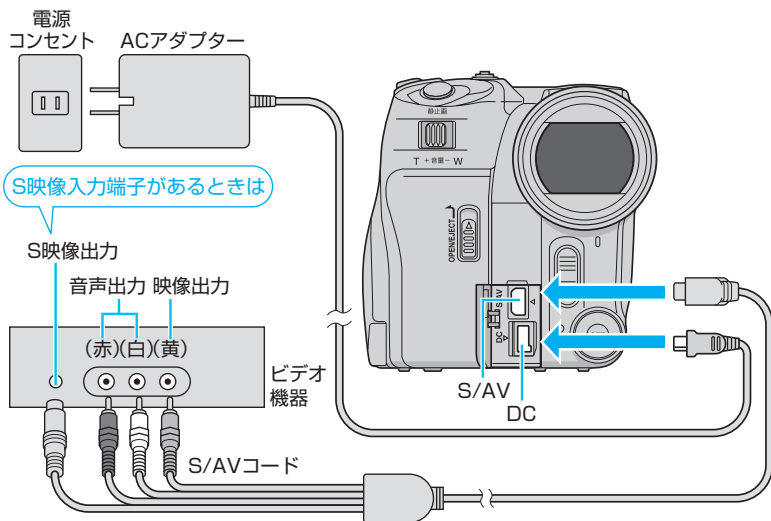
お知らせ ●ビデオ カメラで無記録部分や映像の乱れた部分を再生すると、異常な映像が記録されたり、ダビングが停止することがあります。

編集する 3

ビデオ機器から録画する

今までにビデオ機器で録りためたビデオテープやテレビの映像などを、ビデオカメラのテープに録画できます。

接続する

準備
●電源スイッチ　　　　：「切」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」

1 図のように接続する

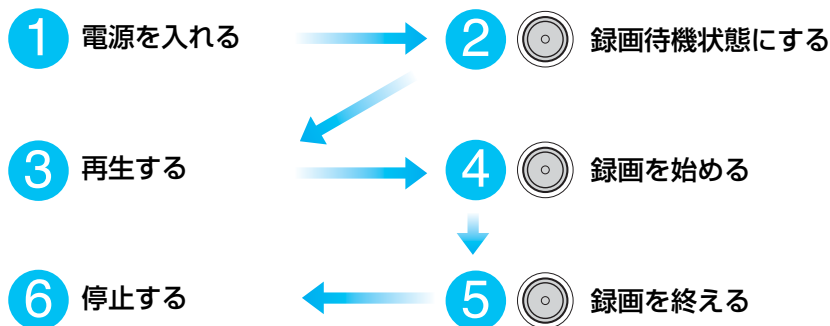
2 再生 「再生」にする

3 メニューで「アナログ入力」を「A/V 入力」に設定する（P.85）
・Ｓ映像端子を使う場合は、「Ｓ入力」に設定する。

■デジタルで録画するときは
ビデオカメラの DV 端子（P.8 ）と、ビデオ機器の DV 出力端子を、DV ケーブル (別売) で接続する。S/AV コードは使いません。
メニューで「アナログ入力」を「切」に設定する (P.85)。

お知らせ ●お使いのビデオ機器の説明書もあわせてご覧ください。

録画する

再生側 (ビデオ機器)	録画側 (ビデオカメラ)
1 電源を入れる	2 録画待機状態にする
3 再生する	4 録画を始める
6 停止する	5 録画を終える

お知らせ ●お使いのビデオ機器などや再生するテープにより、映像が乱れることがあります。
●録画したテープをビデオカメラで再生するとき、「アナログ入力」を「A/V 入力」または「S 入力」に設定していると、映像が乱れることがあります。その場合は、「アナログ入力」を「切」に設定してください。

映像や音声を追加する

追加の準備をする

ムービーに映像や音声を追加するときは、あらかじめ次の操作を行います。

準 備
- 電源スイッチ　　　　　：「再生」
- モード切替スイッチ：「ビデオ」
- 付属のリモコンを用意する

1 メニューで「タイムコード」を「入」に設定する (P.83)

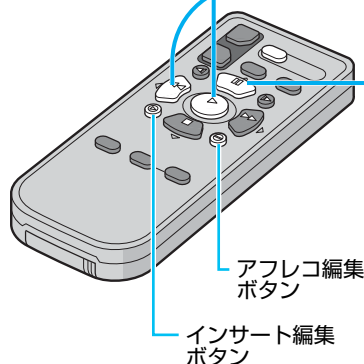
・ 電源スイッチ「Ⓜ」と「再生」のそれぞれで、「入」に設定します。

2 再生する

3 追加を終える位置まで巻戻す

4 一時停止し、タイムコードを紙などに控える

5 追加を始める位置まで巻戻す

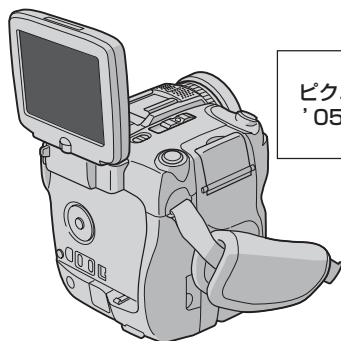
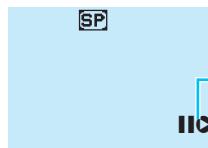
6 一時停止する
↓
インサート編集 (P.57) またはアフレコ編集 (P.58) へ進む

お知らせ ●テープの無記録部分や誤消去防止ツマミが「SAVE」側になっている場合は、編集できません。

映像を追加する インサート編集

タイトルなど別の場面を、元の映像に上書きして追加できます。

●LP モード (P.79) で撮影したムービーには、映像を追加できません。

準 備 ●追加の準備をする (P.56)

1 を押したまま、インサート を押す

撮影待機になります

2 追加する映像を準備する

3 スタート/ストップ 撮影を始める

4 タイムコードが控えておいた数値 (追加を終える位置) になるときに、

スタート/ストップ 撮影を終える

5 停止 編集を終える

■追加する映像に効果をつけるには

メニューで「場面切替」や「エフェクト」を設定する (P.74)。

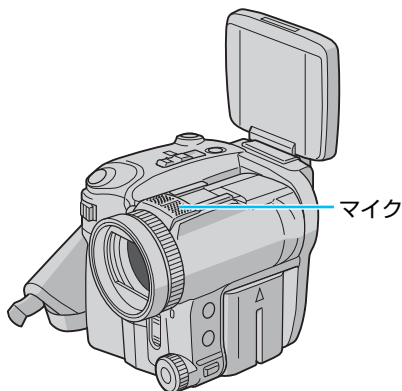
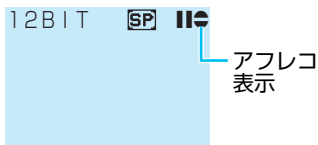
音声を追加する　アフレコ編集

ナレーションやBGM、効果音などを追加できます。再生時には、元の音声と追加した音声を選んで再生できます。

お知らせ ●LPモードや16BIT(P.79)で撮影したムービーには、音声を追加できません。

準備 ●追加の準備をする(P.56)

1

を押したまま、アフレコを押す

撮影待機になります

2 再生 録音を始める

3 タイムコードが控えておいた数値(追加を終える位置)になるときに、

停止 **録音を終える**

■追加した音声を聞くには

メニューで「アフレコ音声」を「入」または「ミックス」に設定する(P.85)。

■外部機器の音を追加するには

①CDプレーヤーなどの外部機器を、S/AV端子に接続する。

②メニューで「アナログ入力」を「A/V入力」または「S入力」に設定する(P.85)。

編集する 5 静止画にする コピー

ムービーからお好みの場面を選び、静止画としてカードにコピーします。

準 備
●電源スイッチ　　　　　：「再生」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」

1 メニューで「⇒コピー」を「入」に設定する（P.81）

2 ムービーを再生する

3 コピーしたいところで、一時停止する

4 静止画を撮影する
静止画
表示されていた映像が、静止画としてコピーされます

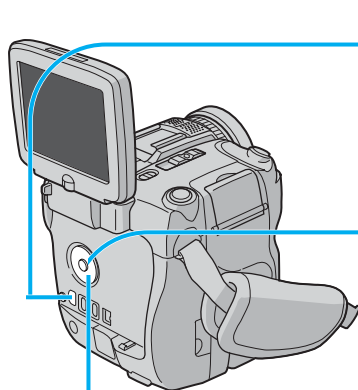
■パソコンで見るには
「パソコンに接続する」(P.67)

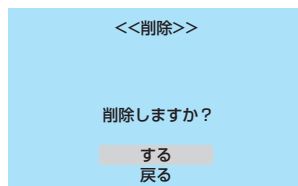
お知らせ ●コピー後の画像サイズは、640 × 480 ドットです。

編集する 6

静止画を削除する

カードの容量がいっぱいになったときや、パソコンなどに取り込んで保存したあとは、不要な静止画を削除しましょう。

準備
- 電源スイッチ　　　　：「再生」
- モード切替スイッチ：「メモリー」

4 削除する静止画を選ぶ

5 「する」を選び、決定する

■削除を終えるには

手順５で「戻る」を選んで決定し、「終了」を選んで決定する。

■すべての静止画を削除するには

手順３で「すべて」を選んで決定し、「する」を選んで決定する。

お知らせ
- 削除した静止画は元には戻りません。削除するまえに、内容をよく確認してください。
- プロテクト（P.66）された静止画は削除できません。プロテクトを解除してから削除してください。

編集する 7 ダイレクトプリントする

PictBridge 対応のプリンターをお使いの場合、プリンターと本機を USB ケーブルで接続するだけで、パソコンを使わずに静止画を印刷できます。

準備

● AC アダプターを接続する (P.15)(推奨)
● 電源スイッチ　　　：「再生」
● モード切替スイッチ：「メモリー」

準備する

1 メニュー

メニューを表示する

2

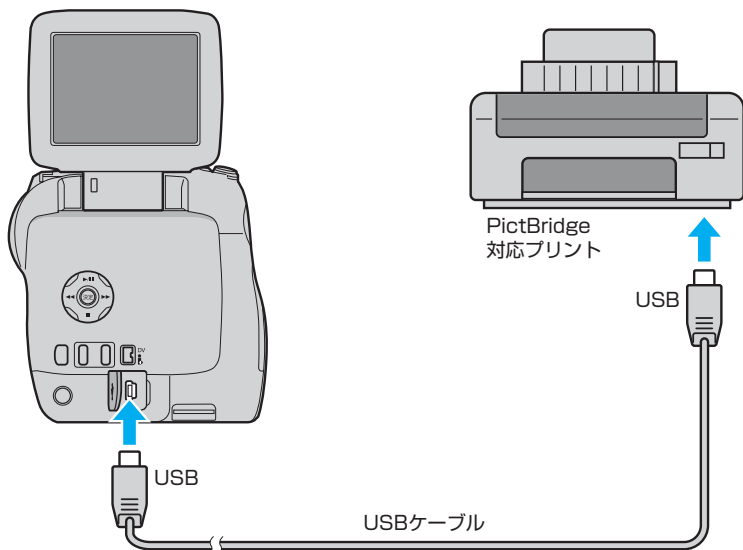
「ダイレクトプリント」を選び、

決定する

「プリンタを接続してください」と表示されます

<<メニュー>>
プロテクト
削除
DPOF
ダイレクトプリント
番号リセット
フォーマット
画面表示
画面明るさ
終了

お知らせ ● メニューで「ダイレクトプリント」を選んでから、USB ケーブルを接続します。先に USB ケーブルを接続しないでください。

プリンターを接続する

PictBridge 対応プリンターを接続してしばらく待つと、設定画面が表示されます。

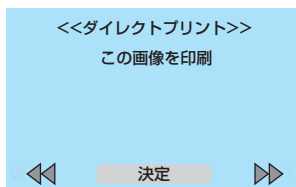
お知らせ
- お使いのプリンターが PictBridge 規格に対応していることを、プリンターの取扱説明書でご確認ください。
- プリンターを接続しても設定画面が表示されない場合や、ダイレクトプリントで印刷したあとにもう一度印刷する場合は、USB ケーブルを取りはずし、再びメニューで「ダイレクトプリント」を選んでから、接続しなおします。

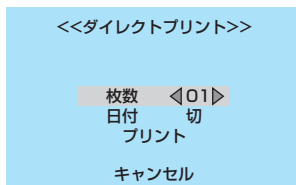
印刷する

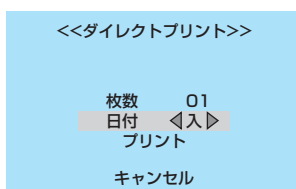
1 「選択印刷」を選んで、決定する

2

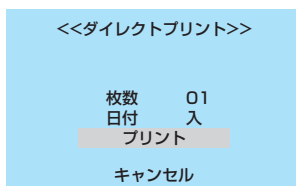
印刷する静止画を選んで、

決定する

3

印刷する枚数を選ぶ

4

撮影日を印刷するときは、「日付」を上下（▶/Ⅱ、■）で選び、「入」を左右（◀◀、▶▶）で選ぶ

5

「プリント」を選び、

印刷する

■複数の静止画をまとめて印刷するには

静止画と印刷枚数をあらかじめ DPOF で設定し (P.66)、手順 1 で「DPOF 印刷」を選ぶ。

続いて、「プリント」を選んで印刷する。DPOF 印刷の設定 (静止画と枚数) を確かめるには、「設定確認」を選ぶ。

編集する 8 カードの整理

準 備

●電源スイッチ　　　　　:「再生」
●モード切替スイッチ:「メモリー」

1 メニュー メニューを表示する

2 メニュー項目を選び、

決定する

<<メニュー>>
プロテクト
削除
ＤＰＯＦ
ダイレクトプリント
番号リセット
フォーマット
画面表示
画面明るさ
終了

3 選択肢を選び、

決定する

<<メニュー>>
プロテクト　表示ファイル
すべてプロテクト
すべて解除
戻る

4 静止画を選ぶ

<<プロテクト>>
プロテクトしますか？
する
戻る

5 「する」を選び、

決定する

<<プロテクト>>
プロテクトしますか？
する
戻る

■操作が終わったら
「戻る」を選んで決定し、「終了」を選んで決定する。

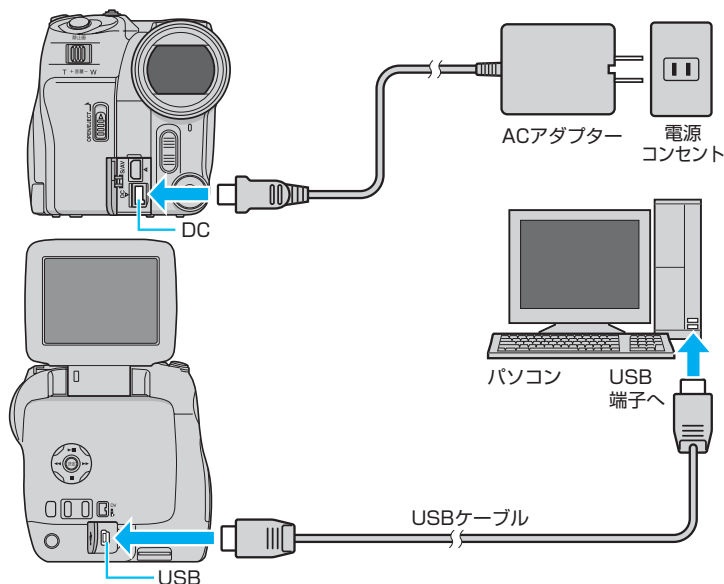
メニュー項目	選択肢と役割
プロテクト	表示ファイル　：表示した静止画を保護する、または保護を解除する。 すべてプロテクト　：すべての静止画を保護する。 すべて解除　：すべての静止画の保護を解除する。
削除	表示ファイル　：表示した静止画を削除する。 すべて　：すべての静止画を削除する。
DPOF	表示ファイル　：表示した静止画の印刷枚数 (最大 15 枚) を指定する。 すべて 1 枚　：すべての静止画を 1 枚ずつ印刷するよう指定する。 リセット　：すべての静止画の印刷枚数を 0 枚に戻す。 ・DPOF(Digital Print Order Format) 対応のプリンターの場合、カードのなかの指定された静止画を、設定した枚数だけ、自動的に印刷できます。 ・静止画が 1000 枚以上あると、DPOF を設定できません。
ダイレクトプリント	選択印刷　：選んだ静止画 (1 ファイル) をプリンターで印刷する (P.62)。 DPOF 印刷　：「DPOF」で印刷する静止画 (複数ファイル) をあらかじめ指定している場合、指定した静止画をプリンターで印刷する。
番号リセット	新たにフォルダを作成し、「0001」からはじまるファイル名をつけて記録する。これまでの静止画を、これから撮影する静止画と区別しやすくなる。
フォーマット	カードのなかにある静止画をすべて消去する。 ・万一、カードの読み書きができなくなるなどの不具合が生じた場合に、フォーマットすることで機能を回復できることがあります。 ・フォーマットすると、プロテクトしたファイルも消去されます。
画面表示	切　：モード表示 (▶)、フォルダ番号とファイル番号 (100-0001 など)、バッテリー残量表示 (▮▮▮) を表示しない。 入　：これらを表示する。(お買い上げ時の設定)
画面明るさ	画面の明るさを調節する。調節バーが表示されるので、左右ボタン (◀◀ ▶▶) で調節し、決定する。

編集する 9 パソコンに接続する

USB ケーブルで接続する

付属の USB ケーブルでパソコンに接続すると、静止画ファイルをパソコンへコピーできます (P.68)。

ご注意
●Windows 98SE をお使いの場合、あらかじめ適切なドライバーをインストールしてください。 ドライバーをインストールするまえに USB ケーブルで接続すると、正常に動作しなくなることがあります。インストールについては、別冊『取扱説明書 インストール編』をご覧ください。

準 備
●電源スイッチ　　　　：「再生」
●モード切替スイッチ：「メモリー」

USB ケーブルで接続すると、パソコンの「マイコンピュータ」に、ビデオカメラのカードが「リムーバブルディスク」として表示されます。

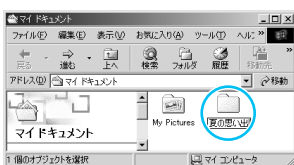
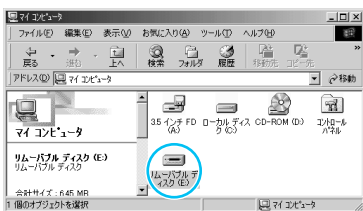
※ Macintosh の場合は、「名称未設定」や「No name」などのアイコンがデスクトップにマウントされます。

■動作環境 (お使いになれるパソコン)

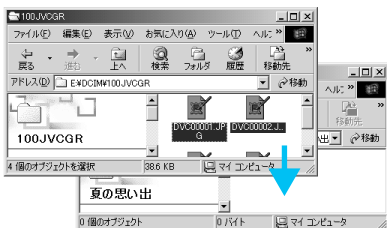
パソコン	：	USB 端子を標準装備する機種
OS	：	Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000、Windows XP (すべてプリインストール版) Mac OS 9.0.4 〜 9.2.2、Mac OS X 10.1.5、10.2.1 〜 10.2.8、10.3.1 〜 10.3.5

■パソコンにカードが表示されないときは
マイコンピュータに「リムーバブルディスク」が表示されないときは、設定と接続を確認する (P.92)。

ファイルをパソコンにコピーする

1 パソコンのなかに静止画を入れるフォルダを作る

2 「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」を開く

3 DCIM フォルダを開き、xxxJVCGR フォルダを開く (xxx は数字)

4 ファイル (拡張子 .JPG) を選んで、パソコンのフォルダへ移す

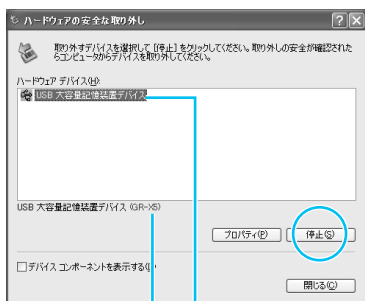
静止画ファイルがコピーされます

■静止画を表示するには
静止画ファイル (拡張子 .JPG) をダブルクリックする。

■静止画を印刷するには

Windows XP の場合、静止画ファイルを選び、「ファイル」メニューの「印刷」をクリックする。その他の OS の場合、市販の画像処理アプリケーションをご購入ください。Internet Explorer では、正しく印刷できないことがあります。

USB ケーブルを取りはずす

1 タスクトレイの「ハードウェアの取り外し」アイコンをダブルクリックする

2「停止」をクリックする

3「OK」をクリックする

4 USB ケーブルを取りはずす

■Windows 98SE の場合は

①「マイコンピュータ」の「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックし、「取り出し」を選ぶ。

②USB ケーブルを取りはずす。

■Macintosh の場合は
①カードのアイコンを「ゴミ箱」に入れる。
② USB ケーブルを取りはずす。

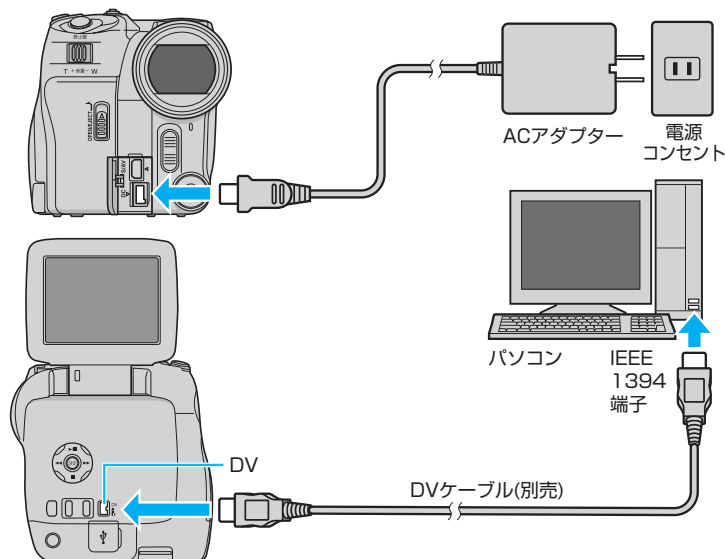
お知らせ
- カードのなかには、静止画以外のフォルダやファイルも記録されています。
- カードのなかのフォルダとファイルは、パソコンで削除・移動・名称変更しないでください。

他社製品の登録商標と商標について

- Microsoft,、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国 Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- i-LINK は、IEEE1394-1995 仕様およびその拡張仕様です。i は i-LINK に準拠した商品につけられるロゴマークです。
- その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM マークと ® マークを明記していません。

ムービーをパソコンに取り込む

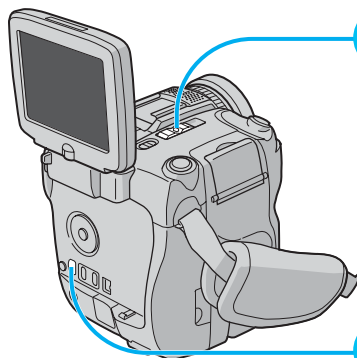
別売の DV ケーブルでビデオカメラを IEEE1394 端子を標準装備したパソコンに接続すると、付属または市販のソフトウェアを使ってムービーをパソコンへ取り込むことができます。

準備
●電源スイッチ　　　　：「再生」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」

ムービーをパソコンに取り込む方法については、付属のソフトウェアをインストールし、その PDF マニュアルをご覧ください。

■ビデオチャットをするときは (Web カメラ)
Windows XP をお使いの場合は、Windows Messenger を使ってビデオチャットを行えます。詳しくは、Windows Messenger のヘルプをご覧ください。

設定する 1 メニューを表示する

撮影の効果や画面表示の切替え、編集作業など、お買い上げ時の設定を変えて操作できます。

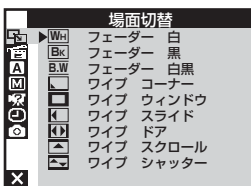
準 備 ●モード切替スイッチ：「ビデオ」(ムービーを撮るとき)
：「メモリー」(静止画を撮るとき)

1 電源スイッチをあわせる

■撮影用に設定するとき

「M」にする

■再生や編集用に設定するとき

「再生」にする

2 メニューを表示する

■設定せずにメニューを消すには

「戻る」を選んで決定し、終了アイコン (✕) を選んでメニューを消す。
「戻る」がないときは、すでに選ばれている項目を選んで決定する。

■すべての設定をお買い上げ時の状態に戻すには

メニューの「プリセット」で「実行」を選ぶ (P.87)。

撮影のメニュー

準 備
●電源スイッチ　　　　：「M」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」または「メモリー」

アイコン	メニュー	ページ
	場面切替	P.75
	エフェクト	P.75
A	フルオート	P.79
M	マニュアル	P.77
	システム	P.87
	撮影日時 / 表示	P.83
	静止画撮影	P.81
	終了	—

● メニューを表示したとき、文字が消えている機能は使えません。

再生や編集のメニュー

準 備
●電源スイッチ　　　　：「再生」
●モード切替スイッチ：「ビデオ」

アイコン	メニュー	ページ
	ビデオ再生モード	P.85
	システム	P.87
	再生日時 / 表示	P.83
	終了	—

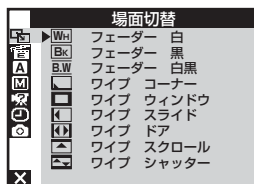
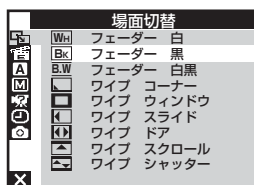
● モード切替スイッチを「メモリー」にあわせると、静止画用のメニューが表示されます(P.65)。

撮影効果メニュー

設定は「Ⓜ」にあわせて撮影するときに効果があります。「撮影」にあわせたときは、一時的にお買い上げ時の設定に戻ります。

準備 ●電源スイッチ：「Ⓜ」

1 メニュー メニューを表示する

2 右表のアイコンを選び、決定する

3 メニュー項目を選び、決定する

■設定が終わったら
手順３で決定すると、メニューが消える。

お知らせ ●場面切替を設定し、画面にそれぞれのアイコンを表示したときは（P.48）撮影開始時(イン)と終了時(アウト)の撮影ボタンを押した直後に、それぞれの効果があらわれます。

メニュー項目	役割	ページ
場面切替		P.48
● WH フェーダー：白	白い画面でフェードイン、フェードアウト。	
BK フェーダー：黒	黒い画面でフェードイン、フェードアウト。	
B.W フェーダー：白黒	白黒画面からカラー画面にフェードイン、カラー画面から白黒画面にフェードアウト。	
ワイプ：コーナー	映像が右上から左下にワイプイン、逆向きにワイプアウト。	
ワイプ：ウィンドウ	映像が中央から外にワイプイン、逆向きにワイプアウト。	
ワイプ：スライド	映像が右から左にワイプイン、逆向きにワイプアウト。	
ワイプ：ドア	映像が中央から左右に開くようにワイプイン、閉じるようにワイプアウト。	
ワイプ：スクロール	映像が下から上にワイプイン、逆向きにワイプアウト。	
ワイプ：シャッター	映像が中央から上下に開くようにワイプイン、閉じるようにワイプアウト。	

メニュー項目	役割	ページ
エフェクト		P.36
●切	映像に変化をつけない。	
映画効果	速いコマ落としで、映画のような効果を出す。	
B/W 白黒	白黒映画のようにモノクロになる。	
セピア	古い写真のようにセピア色になる。	
ストロボ	コマ落としで、連続写真のような効果を出す。	

●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 3 マニュアルメニュー

設定は「Ⓜ」にあわせて撮影するときに効果があります。「撮影」にあわせたときは、一時的にお買い上げ時の設定に戻ります。

●電源スイッチ：「Ⓜ」

1

メニューを表示する

2

「Ⓜ」を選び、

決定する

3

メニュー項目を選び、

決定する

4

選択肢を選び、

決定する

■設定が終わったら

「Ⓤ戻る」を選んで決定し、終了アイコン（☒）を選んでメニューを消す。

メニュー項目	選択肢と役割	ページ
Ⓜ マニュアル		
手ぶれ補正 （「ビデオ」のみ）	切 :設定しない。 ●入 :手ぶれによる映像のブレを低減する。 ・三脚などで固定して撮影するときは「切」にします。「入」にすると、不必要な補正が行われ、不自然な映像になることがあります。 ・次の場合は補正しきれないことがあります。手ぶれが大きいとき。被写体にコントラスト（明暗差）がほとんどないとき。映像にデジタル処理をしているとき。	–
セルフタイマー	●切 : 設定しない。 入 : 設定して撮影ボタンを押すと、15 秒後に撮影が始まる。	–
5S	●切 :設定しない。 5S :5 秒間だけ撮影して一時停止する。（スナップショットムービー作成） アニメ :1/8 秒間だけ撮影して一時停止する。（アニメーション作成）	–
テレマクロ	●切 :ズームの T 側で約 1m まで接近して撮影できる。 入 :ズームの T 側で約 70cm まで接近して撮影できる。	–
ワイド効果 （「ビデオ」のみ）	●切 : 設定しない。 シネマ : 映画風に上下に黒い帯が入る。 ワイド TV : 画面を上下方向に伸ばして撮影する。 ・ワイド効果を使って撮影した映像を再生するときは、お使いのテレビ側で画面サイズを切り換えてください。 ・4 : 3 のテレビで再生すると、上下に黒い帯が入ります。	P.34
ウィンドカット	●切 :設定しない。 入 :風による雑音を低減する。	–
フラッシュ明るさ	＋3 ～: フラッシュの発光量を明るく設定する。 ●±0 ～ －3 : フラッシュの発光量を暗く設定する。	P.40

●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 4 フルオートメニュー

設定は「撮影」と「M」のどちらにあわせて撮影するときにも効果があります。

●電源スイッチ：「M」

1 メニュー メニューを表示する

2 「A」を選び、

決定する

3 メニュー項目を選び、

決定する

4 選択肢を選び、

決定する

■設定が終わったら

「戻る」を選んで決定し、終了アイコン (✕) を選んでメニューを消す。

メニュー項目	選択肢と役割	ページ
🄰 フルオート		
録画モード	●SP：標準モード。アフレコ編集・インサート編集できる。（大切な録画に） LP：長時間モード。撮影時間がSPモードの1.5倍になる。 ・LPモードで撮影したテープは、本機で再生することをお勧めします。ほかのビデオ機器で再生すると、モザイク状のノイズがでたり、再生できないことがあります。	–
音声モード	●12BIT：アフレコ編集できる。 16BIT：高音質で録音する。	P.58
ズーム（「ビデオ」のみ）	10倍：光学ズームのみ。（画質が劣化しない） ●40倍：デジタルズームできる。（倍率を上げると、画質が劣化する） 200倍：デジタルズームできる。（倍率を上げると、画質が劣化する）	P.29
静止画モード（「ビデオ」のみ）	●フル：全面に静止画を表示する。 ネガ：写真のネガのように階調を反転する。 フレーム：白フチをつける。	P.49
感度アップ（「ビデオ」のみ）	切：暗いときも自然のままの明るさで撮る。 ●AGC：暗いときは電気的に明るさを調節する。 オート A：暗いときにAGCよりも明るく調節する。	–
感度（「メモリー」のみ）	●オート：暗いときに自動的に感度を上げる。 ISO 100 100：ISO100フィルム相当に設定する。 ISO 200 200：ISO200フィルム相当に設定する。（100の2倍の感度） ISO 400 400：ISO400フィルム相当に設定する。（200の2倍の感度）	–

●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 5

静止画撮影メニュー

設定は「撮影」と「M」のどちらにあわせて撮影するときにも効果があります。

●電源スイッチ：「M」

1 メニュー メニューを表示する

2 「📷」を選び、決定する

3 メニュー項目を選び、決定する

4 選択肢を選び、決定する

■設定が終わったら

「戻る」を選んで決定し、終了アイコン (✕) を選んでメニューを消す。

お知らせ ●静止画から動画ファイルを作るには別冊『取扱説明書 インストール編』をご覧ください。

メニュー項目	選択肢と役割	ページ
静止画撮影		
画質設定	●ファイン：高画質。(撮影枚数が少ない) スタンダード：撮影枚数が多い。	P.31
画像サイズ	640 × 480：撮影枚数を多くしたいとき。 1280 × 960：パソコンで見たいとき。 1600 × 1200：はがきサイズで印刷したいとき。 2048 × 1536：A4 サイズまでを印刷したいとき。 ●2560 × 1920：A4 サイズ以上を印刷したいとき。	P.31
連写モード	●切：連写しない。 入：静止画ボタンを押し続けているあいだ、静止画を連写する。 ブラケット：自動または手動で設定した明るさを中心に、少し明るい静止画 (+0.3EV) と、少し暗い静止画 (-0.3EV) の、3 種類の静止画を連写する。 ・プログラム AE でシャッター優先に設定しても (P.46)、ブラケット撮影ではシャッター速度が固定されません。	P.31
記録選択	●→テープ：テープのみに記録する。 →テープ／→カード：テープとカードの両方に記録する。	P.49
インターバル	●切：通常の撮影をする。 入：定期的に、静止画を撮影する。 ・インターバル撮影については、別冊の『取扱説明書インストール編』をご覧ください。	P.31
インターバル時間	15 秒、30 秒、 ●1 分 2 分、5 分、10 分 30 分、60 分 ：インターバル機能で静止画を自動的に撮影するときの、撮影の間隔を設定する。	–

●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 6 撮影・再生日時 / 表示メニュー

設定は「撮影」「M」「再生」のそれぞれで効果があります。

●電源スイッチ：「M」(撮影用に設定するとき)
「再生」(再生用に設定するとき)

1 メニュー メニューを表示する

2 「⌚」を選び、決定する

3 メニュー項目を選び、決定する

4 選択肢を選び、決定する

■設定が終わったら
「戻る」を選んで決定し、終了アイコン (✕) を選んでメニューを消す。

メニュー項目	選択肢と役割	ページ
日時 / 表示		
画面明るさ	画面の明るさを調節する。調節バーが表示されるので、左右ボタン (◀◀ ▶▶) で調節し、決定する。	P.18
画面表示切替	【撮影用】 モニター　:テレビやビデオ機器に、文字や記号を出力しない。 ●モニター /TV :テレビやビデオ機器に、画面と常に同じ表示を出力する。 【再生用】 切　:画面、TV、ビデオ デッキに、文字や記号を出力しない。 ●モニター　:テレビやビデオ機器に、文字や記号を出力しない。 モニター /TV :テレビやビデオ機器に、画面と常に同じ表示を出力する。	P.13 P.34
日時表示	【撮影用】 切　:表示しない。 ●オート :電源を入れたときに 5 秒間表示する。 入　:常に表示する。 【再生用】 ●切　:表示しない。 オート :再生をはじめたときと、日付が変わったときに 5 秒間表示する。 入　:常に表示する。	P.13 P.34
タイムコード	●切 :表示しない。 入 :表示する。	P.13 P.56
LANG./ 言語	●日本語　:メニューを日本語で表示する。 ENGLISH :メニューを英語で表示する。	P.109
外部マイクレベル	切 :表示しない。 ●入 :外部マイクを接続すると表示する。	–
年月日時計合わせ (撮影時のみ)	年月日、時刻 : 年月日と時刻を設定する。	P.20

●印は、お買い上げ時の設定です。

設定する 7 ビデオ再生モードメニュー

設定は「再生」にあわせたときに効果があります。

準 備
- ●電源スイッチ　　　　　：「再生」
- ●モード切替スイッチ：「ビデオ」

1 メニュー メニューを表示する

2 「[ビデオ]」を選び、決定する

3 メニュー項目を選び、決定する

4 選択肢を選び、決定する

■設定が終わったら
「[U] 戻る」を選んで決定し、終了アイコン ([X]) を選んでメニューを消す。

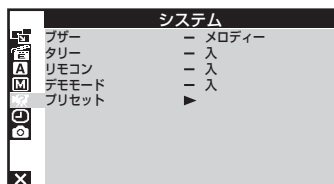
メニュー項目	選択肢と役割	ページ
ビデオ再生モード		
音声切替	●ステレオ：左右の音声を両方とも再生する。 音声 L：左の音声のみ再生する。 音声 R：右の音声のみ再生する。	–
アフレコ音声	●切：撮影時の音声を再生する。 入：アフレコ音声を再生する。 ミックス：撮影時の音声とアフレコ音声を同時に再生する。	P.58
録画モード	●SP：標準モード。アフレコ編集とインサート編集ができる。（大切な録画に） LP：長時間モード。撮影時間が SP モードの 1.5 倍になる。 ・LP モードで撮影したテープは、本機で再生することをお勧めします。ほかのビデオ機器で再生すると、モザイク状のノイズがでたり、再生できないことがあります。	–
➡ M コピー	●切：通常の撮影をする。 入：ムービーの1コマを静止画としてカードにコピーする。	P.59
ブランクサーチ	実行：5 秒間以上の無記録部分を探す。 ・無記録部分の約10秒手前で停止しますので、そこから録画をスタートすると、約 10 秒間映像が上書きされてしまいます。必要に応じて再生し、録画スタート位置を確認してください。	–
アナログ入力	●切：アナログ入力を無効にする。 A/V 入力：再生機の映像出力端子に接続する。 S 入力：再生機の S 出力端子に接続する。	P.54

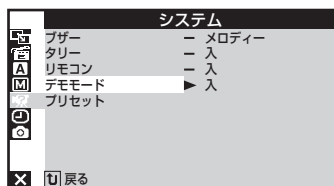
●印は、お買い上げ時の設定です。

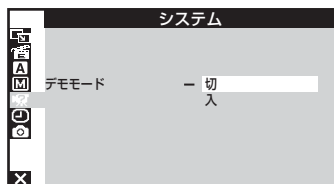
設定する 8 システムメニュー

設定は「撮影」「Ⓜ」「再生」のすべてに効果があります。

準備 ●電源スイッチ：「Ⓜ」または「再生」

1 メニューを表示する

メニュー

2 「」を選び、決定する

3 メニュー項目を選び、決定する

4 選択肢を選び、決定する

■設定が終わったら
「戻る」を選んで決定し、終了アイコン (✕) を選んでメニューを消す。

メニュー項目	選択肢と役割	ページ
システム		
ブザー	切　:操作音を消す。 ブザー　:一部の操作ではブザー音を鳴らす。 ●メロディー :操作するごとにメロディー音を鳴らす。	–
タリー	切 :点灯しない。 ●入 :撮影中にランプが点灯する。	–
リモコン	切 :リモコン操作を受けつけない。 ●入 :リモコンで操作できる。	–
デモモード	切 :設定しない。 ●入 :ビデオカメラにテープを入れずに電源を入れると、エフェクトなどをデモで確認できる。	P.75
プリセット	実行 :メニューの設定をお買い上げ時の状態に戻す。	–

●印は、お買い上げ時の設定です。

故障かなと思ったら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。
→まず、以下の表にしたがって対応する。
→解決しないときは、電源（バッテリーと AC アダプター）を取りはずし、再び取りつける。
→それでも不具合があるときは、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生中	映像にノイズがでたり音声がおかしい ●モザイク画（ブロック状のノイズ）がでる。 ●黒色やモザイク画の横しまがでる。 ●音声が途切れる。 ●音や映像がでない。 ●青い画面になる。	●ビデオヘッドが汚れています。 →ミニ DV ヘッドクリーナー（別売）でクリーニングする。 →終わったら、撮影や再生をして確認する。 ミニ DV ヘッドクリーナー（M-DVSCL）別売 ※ヘッドが磨耗するので、長時間繰り返しクリーニングしないでください。 ※詳しくはヘッドクリーナーの説明書をご覧ください。 ■撮影に失敗しないためには 撮影時にビデオヘッドが汚れていると、正常に記録できません。 ●撮影するまえに試し撮りをする。撮影した部分を再生して、映像と音声が正常に記録されていることを確認してください。 ●クリーニングカセットを持ち歩く。 ●1ヶ月に 1 回は本機を使用する。 ●約 1000 時間の使用を目安に、お買い上げ店またはビクターサービス窓口へ定期点検にだす。	–

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
再生中	映像が乱れる	●テープの無記録部分では映像が乱れることがあります。故障ではありません。	–
再生中	巻戻しや早送りできない	●電源スイッチを「再生」にあわせる。	P.26
再生中	テレビで再生されない	●テレビの入力切換でビデオ用に設定する。	P.34
電源	電源が入らない	●AC アダプターを正しく接続する。 ●バッテリーを充電する。 ●画面を開く。	P.14 P.18
撮影中	撮影できない	●テープの誤消去防止用つまみを「REC」にあわせる。 ●「テープ終り」と表示されていたら、テープを交換する。 ●カセットカバーを閉じる。 ●電源スイッチを「撮影」または「M」にあわせる。 ●モード切替スイッチを正しく設定する。	P.16 P.26 P.27
撮影中	自動でピントがあわない	●電源スイッチを「撮影」にあわせる。 ●電源スイッチが「M」のときは、オートフォーカスにする。 ●暗いところや明暗差のないものを撮影しているときは、マニュアルフォーカスに設定して調節する。 ●レンズにゴミや水滴などがついているときは、ゴミや水滴をきれいに拭う。	P.26 P.39 P.35
撮影中	被写体が暗い	●フラッシュまたはナイトアイを使う。 ●逆光補正ボタンを押す。	P.40 P.42 P.43

撮影中 こんなときは	ここを確かめてください	ページ
被写体が明るい	● 逆光補正を使っているときは解除する。 ●「明るさ補正」を「－」側に設定する。	P.43 P.44
被写体の色がおかしい	● 照明や背後にいろいろな光源があるときは、「白バランス」を「ワンタッチ」に設定する。	P.45
映像に明るい縦の線がでる	● 強い光の当たる被写体を撮影したときは、コントラストにより線がでることがあります。故障ではありません。	–
日時表示がでない	● メニューの「日時表示」を「入」に設定する。	P.83
デジタルズームできない	● メニューの「ズーム」を「10 倍」以外に設定する。 ● 静止画を撮影するときは、光学ズーム (8 倍まで) のみを使います。	P.79
プログラム AE・場面切替・エフェクトが使えない	● 電源スイッチを「Ⓜ」にあわせる。	P.26
場面切替の「フェーダー：白黒」が使えない	● メニューの「エフェクト」を「セピア」や「白黒」に設定しているときは使えません。	P.75
白バランスが設定できない	● メニューの「エフェクト」を「セピア」や「白黒」に設定しているときは使えません。	P.75

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
液晶画面	画面が暗い、または白くなる	●画面の角度や明るさを調節する。 ●寒いところでは多少暗くなります。故障ではありません。 ●寿命が短くなっている可能性があります。お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご連絡ください。	P.83
	画面の裏側が熱くなる	●画面または電源を切ってしばらく置く。（長時間使うとバックライトが熱くなります。故障ではありません。）	–
	画面の表示にムラがでる	●画面やまわりを押したときは、手を離してしばらく置く。（圧迫すると映像ムラが生じます。）	–
	アイコン表示が点滅または消える	●場面切替・エフェクト・プログラムAE・手ぶれ補正などの同時に使えない機能を選んでいるときは、どちらかの機能を使うのをやめる。	P.46 P.74 P.77
	画面に表示されない	●画面を 180 度回転しているときは、確実に開く。	P.18
カード	カードが入らない	●カードの向きを確認する。	P.17
	ファイルを削除できない	●メニューの「プロテクト」でプロテクトを解除する。	P.66

	こんなときは	ここを確かめてください	ページ
パソコン接続	マイコンピュータに「リムーバブルディスク」が表示されない	● USB ケーブルを正しく接続し直す。 ● Windows XP の場合、「リムーバブルディスク」画面が表示されるまで待ち、「フォルダを開いてファイルを表示する」を選んで「OK」ボタンをクリックする。 ● Windows 98SE の場合、付属のドライバーを正しくインストールする。 ※別冊『取扱説明書 インストール編』をご覧ください。 ● ほかの USB 端子に接続する。 ● コントロールパネルの「システム」のプロパティで、ユニバーサルシリアルバス (Universal Serial Bus) コントローラを使えるように設定する。	P.67
パソコン接続	デスクトップにカードが表示されない (Macintosh)	● USB ケーブルを正しく接続し直す。 ● ほかの USB 端子に接続する。 ● Mac OS X の場合、Finder の移動メニューで「コンピュータ」を選ぶ。それでもカードが表示されないときは、OS のバージョンを確認し、動作確認済みのバージョンにアップデートする。 ● Mac OS 9～9.0.2 の場合、Mac OS 9.0.4 以降にアップデートする。	P.67
パソコン接続	通信時エラー表示が出る	● USB ケーブルを正しく接続する。 ● Windows 98SE の場合、付属のドライバーを正しくインストールする。 ※別冊『取扱説明書 インストール編』をご覧ください。	P.67
パソコン接続	DV ケーブルで接続したが、映像が出力されない	● モード切替スイッチを「ビデオ」にあわせる。	P.71
その他	充電中、ランプが点滅しない	● 低温や高温の環境で充電しているときは、許容動作温度の範囲内の環境で充電する。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。)	P.106

こんなときは		ここを確かめてください	ページ
その他	テープが入らない	●バッテリー残量を確認し、不足しているときは AC アダプターを接続する。 ●テープの向きを確認する。	P.22 P.16
	バッテリーステータスが表示されない	●AC アダプターを接続する。(バッテリー残量が完全になくなると、バッテリーステータスは表示されません。)	P.22
	リモコンがきかない	●ビデオカメラのリモコン受光部に、リモコンを正しく向ける。 ●リモコンの電池を交換する。 ●メニューの「リモコン」を「入」に設定する。	P.10 P.24 P.87
	DV ケーブル接続時、操作できない	●電源を切り、接続しなおしてから操作する。	–

■次の場合、故障ではありません

・太陽光が映ると、画面が一瞬赤か黒になる。

・画面やファインダーに黒い点、赤、青、緑の光る点がでる。
(画面には 99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の小さな点がでることがあります。)

こんな表示がでたら…

本機にはマイコンを使用しているため、周囲の雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。
→まず、以下の表にしたがって対応する。
→解決しないときは、電源（バッテリーと AC アダプター）を取りはずし、再び取りつける。
→それでも不具合があるときは、お買い上げ店、または
ビクターサービス窓口へご相談ください。

表示	ここを確かめてください
露が付きました しばらく お待ち下さい （交互に表示され、動作が停止）	●テープを出し入れせずに 1 時間以上待ち、メッセージが消えてから使う。 ※消えない場合は、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。 ■つゆつきとは 冷えたビールをコップに注いだときのように、まわりに水滴が付着する状態のこと。本機で発生すると、心臓部のヘッドドラムのまわりに水滴が付着し、テープが貼りついてしまう。 ■こんなときに起こりやすい ●湿気の多いとき。 ●部屋を暖房した直後。 ●寒いところから暖かいところに急に移動したとき（エアコンなどの冷風が直接当たるところから暑い屋外への移動など）。 ■つゆつきを防ぐには ●温度や湿度の違うところに移動したときは、ビデオカメラとテープをしばらく置き、環境になじませてから使う。 ●例えばスキー場で撮影後、暖房の効いた部屋に入った場合は、ビニール袋などで密封し、しばらく置いて室温になじませる。 お知らせ ●メッセージの表示前でもレンズや保護ガラスに水滴がついている場合、ヘッドドラムにも水滴が付着している可能性があります。カセットカバーを開けないでください。 ●寒冷地帯ではつゆが凍結し、霜になることがあります。またメッセージが消えるまで時間がかかることがあります。

	表示	ここを確かめてください	ページ
全般	01、02、06	●バッテリーとACアダプターを取りはずして付け直し、表示が消えてから使う。	P.14
	03、04	●テープを取り出して入れ直し、表示が消えてから使う。	P.16

■01～06について
動作させて同じ表示がでなければ問題ありません。
2、3回繰り返しても表示が消えないときは、テープは取り出さず、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。

	表示	ここを確かめてください	ページ
全般	日時を設定して下さい	●日時を設定し直す。再び表示されたら、お買い上げ店、またはビクターサービス窓口へご相談ください。	P.20
	バッテリー残量がありません	●ACアダプターを接続する。	P.15
	クリーニングカセットを試して下さい	●ミニDVヘッドクリーナー(別売)でクリーニングする。	P.88
	レンズキャップ	●レンズキャップを取りはずす。	P.25
テープ	インサート録画できません	●テープのツマミを「REC」にあわせる。 ●メニューの「録画モード」を「SP」に設定して撮影しておく。 ●テープにムービーが記録されていないときは、ムービーを撮影しておく。	P.79
	音声アフレコできません	●テープのツマミを「REC」にあわせる。 ●メニューの「録画モード」を「SP」に、「音声モード」を「12BIT」設定して撮影しておく。	P.79

	表示	ここを確かめてください	ページ
テープ	テープへ記録できません	●テープのツマミを「REC」にあわせる。	–
テープ	コピーガードがかかっています	●コピーガードのかかっている映像はダビングできません。	–
テープ	テープ終り	●テープを交換するか、巻戻す。	–
テープ	HDV	●HDV 規格で記録した映像です。本機では再生できません。 ●テープを交換するか、早送り／巻戻しで再生できる部分を探す。 ●不要な映像の場合は、上書きして撮影する。	–
カード	?	●ほかの機器で再生する。（本機で再生できない形式です。）	–
カード	メモリーカードエラー	●カードを入れ直す、またはメニューの「フォーマット」を実行する。	P.66
カード	静止画がありません	●カードに静止画を撮影する。	P.31
カード	メモリー容量がありません	●カードを交換するか、ファイルを削除する。	P.60
カード	メモリーカードへ記録できません	●カードを交換するか、ファイルを削除する。 ●SD メモリーカードのライトプロテクトをはずす。	P.60

表示		ここを確かめてください	ページ
カード	ライトプロテクトがかかっています	●SD メモリーカードのライトプロテクトをはずす。 ●カードを交換する。	–
	プロテクトがかかっています	●メニューの「プロテクト」で解除する。	P.66

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。

 危険 人が死亡、または重傷を負う可能性が切迫して生じるおそれがあるもの。

 警告 人が死亡、または重傷を負う可能性があるもの。

 注意 人が重傷を負う、または物的損害が生じる可能性があるもの。

絵表示について

注意・警告が必要な事項。（図中に具体的な注意内容）

 禁止されている事項。（図中に具体的な禁止内容）

 実行して頂きたい事項。（図中に具体的な実行内容）

万が一こんなときは

バッテリーをはずす／電源プラグを抜く
- 煙が出たり異臭がするとき
- 落下などにより壊れたとき
- 内部に水や異物が入ったとき
（そのまま使用すると火災や感電の原因）

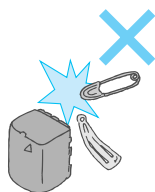
販売店に修理を依頼してください

⚠危険

バッテリー、リモコン用電池

絶対に分解、加工、加熱、火中投入などをしない
- 液漏れ、発熱、破裂、発火による火災やけがの原因となります。

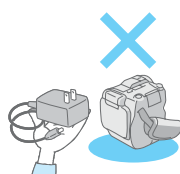
端子部に金属物（ネックレス、ヘアピンなど）を接触させない
- ショートによる発熱で火災や、やけどの原因となります。
- 持ち運びのときは、必ずバッテリーにキャップを付け、電池は１つずつビニール袋などに入れてください。

高温（60 ℃以上）になる場所に置かない
- 発熱、破裂、発火による火災やけがの原因となります。

ACアダプター

本機以外に使わない

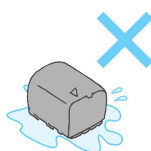
●火災や故障、感電の原因となります。
●本機用のものか確認してからご使用ください。

分解や改造をしない

●火災や感電の原因となります。
●お客様による点検、整備、修理は危険です。販売店にご依頼ください。

⚠警告

バッテリー、リモコン用電池

液もれしていたら使わない

●ショートによる発熱で、やけどの原因となります。
●本体取り付け部をよくふいて、バッテリーを交換してください。
●液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。
●万一液が目などに入ったときは、きれいな水でよく洗った後、ただちに医師に相談してください。

ぬれたバッテリーは使わない

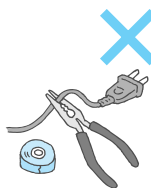
●故障、感電、発熱、発火の原因となります。

電池は幼児の手の届かない場所に置く

●誤って飲み込んだときは、医師に相談してください。

ACアダプター

電源コードを傷つけない

●火災や感電の原因となります。
●次のようなことは電源コードが傷む原因になります。
コードを持って抜く、加工する、
無理に曲げる、ねじる、引っ張る、
重いものを載せる、加熱器具に近づける。

雷が鳴り出したら、電源プラグにふれない

●感電の原因となります。

電源プラグは根元までしっかり接続する

●火災や感電の原因となります。
●接触不良で発熱することがあります。

AC アダプター		**電源コードが傷んだときは電源プラグを抜く** ●販売店に修理を依頼してください。 ●芯線が露出したり、断線したまま使用すると、火災や感電の原因となります。
		電源プラグにホコリや金属を付着させない ●火災や感電の原因となります。 ●付着しているときは電源プラグを抜き、取り除いてください。
本体		**なかに金属や燃えやすいものや、水などの液体を入れない** ●火災や感電の原因となります。
		●特にテープやカードの出し入れ口に注意願います。 ●降雨・降雪中、海岸・水辺などでは水が入らないよう、ご注意ください。 ●ふろ場では使用しないでください。
		内部の部品にさわらない ●感電や故障の原因となります。 ●テープの出し入れ口から見える部品にさわらないでください。
		機器を接続するときは、電源を切る ●感電や故障の原因となります。
		分解や改造をしない ●火災や感電の原因となります。 ●内部の点検、整備、修理は販売店にご依頼ください。
		運転中に使用しない ●交通事故の原因となります。 ●自動車などを運転しながらの撮影・再生はしないでください。
		レンズを直射日光などの強い光源に向けない ●火災や故障の原因となります。 ●集光により、内部部品が破損、過熱することがあります。

⚠注意

バッテリー、 リモコン用 電池		**充電中に長時間ふれない** ●低温やけどの原因となります。 ●間違ってふれないような場所で充電してください。
		電池を入れるときは、極性表示（＋と－）をあわせる ●電池の破裂、液漏れにより火災、けが、周囲の汚損の原因となります。

AC アダプター		ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない ●感電の原因となります。
		充電中に長時間ふれない ●低温やけどの原因となります。 ●間違ってふれないような場所で充電してください。
		コードはつまずかないように配置する ●製品の落下や転倒によるけがの原因となります。
本体		次のような場所には置かない、使わない ●浜辺など砂ボコリの多いところ。 ●湿気やホコリの多いところ。 ●調理台や加湿機のそばなど、油煙や湯気の当たるところ。 ●熱器具の近くや直射日光の強いところなど高温になるところ。 ●火災や感電、故障の原因となります。
共通		移動するときは、電源プラグや接続コードをはずす ●コードの損傷による火災ややけどの原因となります。
		長期間使わないときや、お手入れするときはバッテリーをはずし、電源プラグを抜く ●感電の原因となります。 ●電源が「切」でも機器には電気が流れています。
		5 年に一度は販売店に内部点検を依頼する ●内部のホコリに電気が流れ、火災や感電の原因となります。 ●湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。
		飛行機内での使用は、航空会社の指示に従う ●本機の電磁波などが、計器に影響を与えるおそれがあります。
アクセサリー		指定のアクセサリーを使う ●火災や感電の原因となります。 ●本機用のものか、確かめてお使いください。
付属品		付属の CD-ROM をオーディオ用プレーヤーで再生しない ●回路やスピーカーを破損するおそれがあります。 ●オーディオ用の CD ではありません。再生しようとすると過大な信号が流れるおそれがあります。

保証とアフターサービス

保証書 別添付

保証書を販売店から受け取る際は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめください。その後、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げ日から１年間です。

補修用部品の最低保有期間

当社は、デジタルビデオカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りのビクターサービスにお問い合わせください。最寄りのビクターサービスは、別紙の「ビクターサービス窓口案内」にてご確認ください。

愛情点検	●長年お使いのカメラの点検をぜひ！	熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか		ご使用を中止	
	●再生しても映像や音声がでない ●異常な臭いや音がする ●水や異物が入った ●その他の異常や故障がある		故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

修理を依頼される場合 持込修理

「故障かなと思ったら…」(P.88) に従って調べてください。
異常があるときは、電源を切り、必ずバッテリーと AC アダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。本機・DV カセットテープなどの万一の不具合により、正常に録画・録音・再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。

■ご連絡していただきたい内容

品名	デジタルビデオカメラ
型名	GR-X5
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	
お名前	
電話番号	(　)　−

■保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店にて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社 (以下、当社) にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

● お客様の個人情報は、お問い合せへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
● お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
● 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
　① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
　② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
● お客様の個人情報に関するお問い合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

仕様

一般

電源	AC アダプター使用時　DC 11V バッテリー使用時　　DC 7.2V
消費電力	4.8W(バックライト使用時 5.8W)
外形寸法	88mm × 89mm × 93mm (幅×高さ×奥行き、 レンズフードを含まず)
質量	本体　　約 510g 撮影時　約 590g （バッテリーBN-VF707、60 分テープ、メモリーカード、 レンズキャップ、 レンズフードを含む)
動作環境	許容動作温度　0 ℃～ 40 ℃ 許容相対湿度　35%～ 80% 許容保存温度　-20 ℃～ 50 ℃

カメラ部

映像素子	1/4.5 型 133 万画素 CCD × 3(3CCD) 撮像エリア： 69 万画素× 3(ムービー)、 123 万画素× 3(静止画)
レンズ	ムービー　F1.8 ～ 2.4、f = 3.2mm ～ 32mm 静止画　　F1.9 ～ 2.4、f = 4.0mm ～ 32mm (35mm カメラ換算　ムービー：46.2mm ～ 462mm 静止画　：43.0mm ～ 344mm)
フィルター径	37mm (ネジピッチ 0.75mm)
最低照度	18 ルクス (ナイトアイ時：約 1 ルクス)

※ コンバージョンレンズやレンズフィルターを取り付ける場合は、 レンズフードを取りはずします (P.24)。

液晶部

液晶画面	2.5 型、 12.3 万画素、 ポリシリコンカラー液晶

■撮影・再生時のズーム仕様

ムービー撮影時	光学ズーム 10 倍まで、 デジタルズーム 200 倍まで
静止画撮影時	光学ズーム 8 倍まで
再生時	拡大再生 20 倍まで

デジタルビデオカメラ部

録画／再生方式	DV 方式 (SD 仕様) 映像：デジタルコンポーネント記録 音声：PCM デジタル記録、32kHz 4 チャンネル (12BIT)、 48kHz 2 チャンネル (16BIT)、44.1kHz(再生のみ)
信号規格	NTSC 日米標準信号方式
使用カセット	ミニ DV カセット
録画／再生時間	SP モード：80 分、LP モード：120 分 (80 分テープ使用時)
早送り／巻戻し	約 3 分 (60 分テープ使用時)

デジタルスチルカメラ部

記録メディア	SD メモリーカード、マルチメディアカード
圧縮方式	JPEG 準拠
画像サイズ	(次の表を参照のこと)
画質	2 モード (ファイン／スタンダード)

■静止画の撮影可能枚数の目安

画像サイズ	画質モード	マルチメディアカード	SD メモリーカード					
		32MB (市販)	32MB (市販)	64MB (市販)	128MB (市販)	256MB (市販)	512MB (市販)	1 GB (市販)
640 × 480	ファイン	195 枚	185 枚	385 枚	780 枚	1555 枚	3140 枚	6040 枚
	スタンダード	275 枚	265 枚	550 枚	1115 枚	2225 枚	4490 枚	8635 枚
1280 × 960	ファイン	50 枚	50 枚	100 枚	210 枚	420 枚	845 枚	1630 枚
	スタンダード	85 枚	80 枚	170 枚	350 枚	705 枚	1425 枚	2745 枚
1600 × 1200	ファイン	35 枚	33 枚	65 枚	140 枚	280 枚	570 枚	1095 枚
	スタンダード	55 枚	50 枚	110 枚	225 枚	455 枚	920 枚	1775 枚
2048 × 1536	ファイン	21 枚	20 枚	42 枚	85 枚	170 枚	350 枚	675 枚
	スタンダード	34 枚	32 枚	65 枚	135 枚	270 枚	550 枚	1055 枚
2560 × 1920	ファイン	14 枚	13 枚	27 枚	55 枚	110 枚	225 枚	435 枚
	スタンダード	22 枚	21 枚	42 枚	85 枚	175 枚	355 枚	685 枚

※撮影枚数は目安です。SD メモリーカードについては、松下製、東芝製、SanDisk 製、PQI 製 (32MB・64MB・128MB・256MB・512MB・1GB) のメディアで動作確認しています。

フラッシュ

推奨撮影距離	2m 以下

端子部

DV 端子	4 ピン (i.LINK/IEEE1394 準拠)
S/AV 端子	S 映像端子 アナログ入力 (Y:0.8V(p-p) ～ 1.2V(p-p)、75Ω C:0.2V(p-p) ～ 0.4V(p-p)、75Ω) アナログ出力 (Y:1.0V(p-p)、75Ω　C:0.29V(p-p)、75Ω) 映像端子 アナログ入力 (0.8V(p-p) ～ 1.2V(p-p)、75Ω) アナログ出力 (1.0V(p-p)、75Ω) 音声端子 ステレオ・アナログ入力 (300mV(rms)、50kΩ) ステレオ・アナログ出力 (300mV(rms)、1kΩ)
マイク端子	φ3.5mm ミニジャック (ステレオ)(プラグインパワーマイク対応)
ヘッドホン端子	φ3.5mm ミニジャック (ステレオ)
USB 端子	ミニ USB-B タイプ (USB 2.0/1.1 準拠、転送速度：USB 1.1 相当)

時計用電池

種類	二次電池 (内蔵充電式)

AC アダプター AP-V14

電源	AC 100V— 240V、50Hz ／ 60Hz
入力容量	23VA(100V)、31VA(240V)
出力	DC11V、1A
許容動作温度	0 ℃～ 40 ℃ (充電時は 10 ℃～ 35 ℃)
外形寸法	50mm × 27mm × 71mm (幅×高さ×奥行き) (コードと AC プラグを含まず)
質量	約 100g

リモコン RM-V720

電池	DC3V(ボタン電池 CR2025)
電池寿命	約 1 年 (使用頻度により変わります。)
動作距離	約 5m(正面軸上)
許容動作温度	0 ℃～ 40 ℃
外形寸法	45mm × 11mm × 105mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約 40g (ボタン電池を含む)

バッテリー BN-VF707

電圧	DC 7.2V
容量	700mAh
外形寸法	38mm × 23mm × 41mm (幅×高さ×奥行き)
質量	約 55g

■充電時間の目安

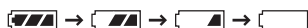
バッテリー	時間
BN-VF707(付属)	1 時間 30 分
BN-VF714(別売)	2 時間 40 分
BN-VF733(別売)	5 時間 40 分

※室温 10 ℃～ 35 ℃の範囲を想定しています。表の数字は目安です。

■連続撮影時間の目安 (最大撮影時間)

バッテリー	バックライト 切	バックライト 入
BN-VF707（付属）	55 分	45 分
BN-VF714（別売）	1 時間 55 分	1 時間 35 分
BN-VF733（別売）	4 時間 35 分	3 時間 45 分
VU-V840KIT（別売）	5 時間 35 分	4 時間 35 分
VU-V856KIT（別売）	8 時間	6 時間 35 分

■バッテリー残量の表示

[残量4/4] → [残量2/4] → [残量1/4] → [残量なし]

お知らせ ●バッテリー残量の表示は目安です。30 分以上の場合は 10 分単位、30 分以内の場合は 5 分単位の表示になります。

■実撮影時間の目安

バッテリー	バックライト 切	バックライト 入
BN-VF707(付属)	25 分	20 分
BN-VF714(別売)	55 分	45 分
BN-VF733(別売)	2 時間 15 分	1 時間 50 分
VU-V840KIT(別売)	2 時間 45 分	2 時間 15 分
VU-V856KIT(別売)	4 時間	3 時間 15 分

※VU-V840KIT および VU-V856KIT は、バッテリーを付属のバッテリーポーチに入れ、別売の DC コード (VC-VBN800) でバッテリーポーチとビデオカメラを接続して使います。バッテリーをビデオカメラに直接取り付けることはできません。
※撮影条件により、撮影可能時間は変化します。表の数字は目安です。

お知らせ ●撮影時間は、ズームを使ったり、撮影と撮影停止を繰り返すことなどで短くなります。撮影予定時間の約 3 倍分のバッテリーを用意することをお勧めします。

●実撮影時間は撮影、撮影停止、電源の入/切、ズーム動作などを繰り返した場合の撮影時間です。実際には、これよりも短くなることがあります。十分に充電しても撮影できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーに交換してください (P.14)。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。この取扱説明書にしたがって正しく取り扱いをしてください。

For English Users

To change the Menu indications etc. to English.

1 Set the POWER switch to "M" while pressing down the LOCK button located on the switch.

Lock button

POWER switch

2 メニュー Press MENU button.

3 Press UP or DOWN button to select "🕘" and press SET button.

MENU button

UP and DOWN button
SET button

撮影日時/表示

画面明るさ		
画面表示切替	－	モニター/TV
日時表示	－	オート
タイムコード	－	切
LANG./言語	－	日本語
外部マイクレベル	－	入
年月日		2006. 1. 2
時計合わせ		PM 2 : 50

4 Press UP or DOWN button to select "LANG."

and press SET button.

5 Press UP or DOWN button to select "ENGLISH"

and press SET button.
The Menu indication changes to ENGLISH.

6 Press SET button twice.
The Menu screen closes.

さくいん

ユーザー登録およびアンケートのお願い

このたびは、ビクター商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
今後のよりよい商品の開発に反映させるために、ユーザー登録およびアンケートにご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/dvc/

商品についてのご相談や修理のご依頼は

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、P.103 をご覧ください。

修理に関するご相談	お買い物情報や全般的なご相談
ビクターサービスエンジニアリング株式会社 別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	**お客様ご相談センター** フリーダイヤル **0120-2828-17** 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は 電話：(045) 450-8950 FAX：(045) 450-2275 〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12
技術的なご相談	
DVご相談窓口 電話：(045)450-2770	

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV＆マルチメディアカンパニー

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12

M5D7 0405MKH-HT-VP